

TOSHIBA



4TH JCF STUDENTS' MOVIE FESTIVAL IN OKINAWA  
OFFICIAL CATALOG



クリアに撮って、リアルに映す。

144×176 dot  
2.1 Inch Display  
2.1 Inch ディスプレイ

poly silicon TFT  
ポリシリコン TFT

Sub Display  
サブディスプレイ

CCD camera  
CCDモバイルカメラ

poly silicon TFT

リアルな美しさ、高解像度“ポリシリコンTFT”



- 大型2.1インチ
- 65,536色
- 144×176ドット・25,344画素

CCD Camera

鮮明に撮れる、高感度“CCDモバイルカメラ”



- デジタルズーム
- PCで楽しめるCIFサイズ撮影

だから、写メールや  
ムービー写メールがキレイ。



カンタンに楽しめる、多彩な写メール



- 絵ハガキ de 写メール
- ビッグ de 写メール
- バラバラ de 写メール
- ワンタッチ・フォトメール

動きがあると、もっと伝わるムービー写メール



●ムービーモードでの撮影/保存/再生にはNancy Technologyが使われています。  
Nancyは株式会社オフィスアップの商標です。  
●ムービーモードでの音声技術には「AMR」が使われています。  
The AMR applications incorporates patented material owned by Ericsson and Nokia.

J-T51  
by TOSHIBA

ムービー写メール 対応

株式会社東芝 モバイルコミュニケーション社 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1  
<http://www.toshiba.co.jp/> \*画面はイメージで、実際とは異なります。

それは、Tのケイタイ マナーもいっしょに携帯しましょう。



STUDENTS MOVIE FESTIVAL  
IN OKINAWA

# Netz PRESENTS!

(お手数ですが、内容をお確かめのうえページ

# 読者参加型広告!

を折ってクルマのスタイルをご覧ください)

やっぱりコンパクトが  
いちばん!



## スタイルをきわめた、とっておきのコンパクト

- ◎ For Your 1st. それがいストのコンセプト。つまり、あなたの「とっておき」の1台ってことなのです。
- ◎ 個性的なのに飽きない美しさを持つスタイリングに、インテリアもシンプルかつシャープにキマってる。
- ◎ すべてにおいてクラスを超えた上質な輝きをそなえた新しいコンパクトカー、ネッツから新登場です。

いスト 1.3F

5ドア 2WD 4速A/T **125.0**万円

ボディカラーはシルバームタリック(199)  
全長×全幅×全高(mm):3,855×1,695×1,530 最高出力(ネット):64kW(87PS)/6,000r.p.m.  
最大トルク(ネット):121N・m(12.3kg・m)/4,400r.p.m.  
※1 平成12年基準排出ガス75%低減レベル[低排出ガス車認定制度(国土交通省認定制度)]



## 愛されて、さらに美しく生まれ変わった世界的コンパクト

- ◎ 新しいデザインでビューティフルに生まれ変わったヴィッツ。コンパクトカーも美しさで選ぶ時代です。
- ◎ クルリ4.3mの最小回転半径で、狭い道でも混んだ街中でもきびきびドライブでフットワークいい生活!
- ◎ 地球のことを考えた超-低排出ガス車(星みっつ☆☆☆!)、しかも低燃費だから環境にもやさしい!

ヴィッツ 特別仕様車 F“D Package Beautiful Selection”(ベース車両はF)

[累計販売50万台<sup>※1</sup>達成記念]  
5ドア 2WD 4速A/T **108.5**万円

〈主な特別装備〉 ●ワイヤレスドアロックリモートコントロール(メインキー-2本)(電波式・アンサーバック機能付)  
●電動格納式リモコンカラードアミラー ●プライバシーガラス(リヤサイド・バックガラス)/他  
ボディカラーはブルーメタリック(8P2) 全長×全幅×全高(mm):3,640×1,660×1,500  
最高出力(ネット):51kW(70PS)/6,000r.p.m. 最大トルク(ネット):93N・m(9.5kg・m)/4,100r.p.m.  
※155/80R13タイヤ パワーステアリング装着車 ※2 発売以来、2002年4月で累計50万台達成 ※3 平成12年基準  
排出ガス75%低減レベル[低排出ガス車認定制度(国土交通省認定制度)]1.0Lエンジン車(除くB“Eco Package”)



## 斬新かつ機能的なデザインで、個性派No.1コンパクト

- ◎ bBといえば、まずそのデザイン。シンプルなのに絶対の存在感。しかもすべてが機能的!それがbBスタイル。
- ◎ 前後のベンチシートはフロントを倒したり、リヤを倒したり、遊び方に合わせて自由な空間をすぐ作れるのだ。
- ◎ たとえば、リヤシートを倒せば、ボディボードやMTBもラクラク詰めちゃうラゲージスペースに早変わり。

bB 特別仕様車 S“Wise セレクション”(ベース車両はS)

5ドア 2WD 4速A/T **129.8**万円

〈主な特別装備〉 ●UVカット機能付プライバシーガラス(リヤドア・リアクォーター・バックドア)  
●電動格納式リモコンカラードアミラー ●ハイマウントストップランプ  
●ワイヤレスドアロックリモートコントロール(メインキー-2本)(電波式・アンサーバック機能付)/他  
ボディカラーはホルダーマイカ(3P2)  
全長×全幅×全高(mm):3,825×1,690×1,640 最高出力(ネット):65kW(88PS)/6,000r.p.m.  
最大トルク(ネット):123N・m(12.5kg・m)/4,400r.p.m.



## ヨーロッパの美しく落ちついた装いを感じるプレミアムコンパクト

- ◎ どこかヨーロッパの香りのするスタイルは後ろ姿まで魅力的。コンパクトだっておしゃれに選びたいもの。
- ◎ 落ち着いたインテリアが大人の雰囲気を出す室内空間は、広さも十分、気持ちにもゆとりが生まれます。
- ◎ おしゃれで、ゆとりのスタイルだから、走りだっただけであわてず優雅にスムーズフットワークが信条なのです。

アレックス 特別仕様車 XS150“Wise セレクション”(ベース車両はXS150)

5ドア 2WD 4速A/T **137.8**万円

〈主な特別装備〉 ●LEDスリットビームストップランプ付リアスポイラー ●プライバシーガラス(リアドア・バックドア)  
●電動格納式リモコンカラードアミラー ●温水機能つきUVカットガラス(フロントドア)/他  
ボディカラーはベージュメタリック(4P7)  
全長×全幅×全高(mm):4,175×1,695×1,470 最高出力(ネット):81kW(110PS)/6,000r.p.m.  
最大トルク(ネット):143N・m(14.6kg・m)/4,200r.p.m.



## 乗る人みんなにやさしい、ファミリーごきげんコンパクト

- ◎ 運転する人だけでなくクルマに乗る人みんなのことを考えた設計、それがラウムのユニバーサルデザイン。
- ◎ 左右両側スライドドアだから、狭い所でも乗り降りラクラク、横開きバックドアで荷物も簡単積み込み。
- ◎ ウォークスルーも自由自在のたっぷり広い室内空間だから、ファミリーみんながいつもごきげんドライブ!

ラウム 特別仕様車 セバレート“Wise セレクション”(ベース車両はセバレート)

5ドア 2WD 4速A/T **149.8**万円

〈主な特別装備〉 ●専用シート表皮/専用ドアトリム表皮 ●電動格納式リモコンカラードアミラー  
●運転席アームレスト ●UVカット機能付プライバシーガラス(リヤドア・リアクォーター・バックドア) ●メッキグリル/他  
ボディカラーの専用外板色シルキーホワイトトニング(2HX)はメーカーオプション  
全長×全幅×全高(mm):4,045×1,685×1,535 最高出力(ネット):67kW(91PS)/5,400r.p.m.  
最大トルク(ネット):130N・m(13.3kg・m)/4,400r.p.m.



### ネッツの るなら、スマートボディに中身がギ

### ユーっと詰まった、選べる5種類の コンパクト。

詳しくは!  
[www.toyota.co.jp](http://www.toyota.co.jp)



Netzおすすめのコンパクトカーが勢揃い!  
クルマ選びのポイントがわかる  
[www.netztoyota.com](http://www.netztoyota.com)

トヨタF1チームチーフ  
兼いしんを、トヨタF1  
F1日本グランプリへチケット  
他が当たる!抽選で全席計1000席  
抽選7/31迄まで

●カタログのご請求は、お電話またはインターネットで年中無休24時間受け付けております。●トヨタ自動車お客様相談センター 0070-800-778899にお問い合せ。ご希望は、月～金(除く休日):9時～12時、13時～17時で受け付けております。●価格はすべて税別です。消費税、国土交通省工賃付の価格です。保険料、税金(含む消費税)、登録料などの諸費用は別途発生します。●オプション及びオプション取付費は価格に含まれません。●お申し込みの際は、お名前、お電話番号、お住居、お電話番号、おメールアドレスを必ずお申し込みください。●お申し込みは、お申し込みの住所が、お申し込みの住所に限り有効です。●価格はメーカー希望小売価格で参考価格です(北海道・沖縄地区を除く)。価格は販売店が独自に定めていますので各販売店までおたずねください。

アリスト アルテzza エルファ ヴェルファイア MR-S プラッツ アレックス ラウム いスト bB ヴィッツ カリブ ヴォクシー RAV4J プロボックス



追悼

林鉄次様

あなたが見せてくださった映画への情熱を、

若い人たちへの愛情を、私たちは決して忘れません。

御冥福を心からお祈り申し上げます。

JCF学生映画祭実行委員会



**主催**

第4回JCF学生映画祭実行委員会

**共催**

那覇市

**運営**

第4回JCF学生映画祭事務局

オフィシャルブロードバンドスポンサー

B-BAT

**特別協力**

シネフィル・イマジカ

Cinema-Imagica

**協力**

New Wave co. GETTI.co.jp

JCF日本サークル連盟

オキナワショートショートフィルムフェスティバル実行委員会

パートナーシップ・ナハ

外資系情報産業研究会

Newtown Cable Network Co.,Ltd

FB Production. Inc.

**後援**

沖縄県

財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

那覇市教育委員会 那覇市観光協会

琉球新報社 沖縄タイムス社 琉球放送 沖縄テレビ放送

琉球朝日放送 ラジオ沖縄 FM沖縄 NHK沖縄放送局

沖縄JOHO おきなわ倶楽部 週刊レキオ社 琉球映画興行協会

TOKYO FM JFN フジテレビ721 MUSIC BIRD

日経CNBC

早稲田大学アントレプレヌール研究会(WERU)

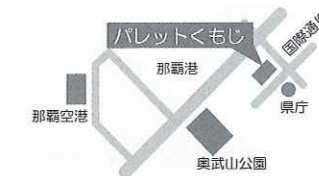
WERU INVESTMENT Co.,Ltd.

2002.7.3(wed)~7.7(sun)

1日券 ¥500

パレットくもじ

7F りうぼうホール(本会場)  
9F パレット市民劇場(授賞式会場)  
那覇市久茂地1-1-1  
TEL.098-867-1171



JCF学生映画祭実行委員会  
03-3780-0666

**第4回JCF学生映画祭実行委員**

実行委員長 高 秀簡  
実行委員 花田 良知  
金子 恒彦  
桐山 勝  
プロデューサー 太田 雅人

**第4回JCF学生映画祭事務局**

事務局長 近藤 三千彦  
柳下 芳徳  
今城 和志  
棚沢 康之  
猪野 佑一  
池嶋 徳佳  
小嶋 吉倫(早稲田大学)  
渡辺 久貴(明治大学)

**クリエイティブスタッフ**

チーフディレクター 大塚 靖雄  
末武 雅朗  
大河原 栄士  
清水 義了  
岩井 敬太  
大垣 裕美(慶應義塾大学)  
竹内 慎太郎(慶應義塾大学)  
福喜多 健(慶應義塾大学)

**翻訳協力**

近藤 千雄、水野 衛子  
権 貞花、井上 聡美

**SPECIAL THANKS**

イラスト 紀平桃佳  
オープニング映像 FBプロダクション  
オープニング楽曲 2 t



**高秀蘭**  
第4回JCF学生映画祭実行委員長  
映画プロデューサー

JCF学生映画祭も第4回目の開催を迎える事が出来ました。北の大地夕張から常夏の地沖縄で、映画が大好きな若人を応援しよう！彼らの夢をかなえよう！多くの人々の努力が実りました。

映画は「世界共通の言葉」と思っています。これからは一つの国だけではなく多くの国の人々と一緒に映画を作って行く時代です。沖縄開催を機会にアジアの映画関係者の息吹を味わってください。

沖縄の街は太陽がいっぱい、皆イキイキしています。若人には良く似合います。いつの日か沖縄を東洋のカンヌにしたいと思っています。

**Shirley Kao**  
Film producer  
Chairman of the Executive Committee of the 4th JCF Students' Film Festival

The Festival celebrates its 4th anniversary, not in northern island Hokkaido, but in southern island Okinawa. It is solely due to the efforts of those concerned who want to back up the young and help realize their dreams of producing films of their own making. I think movies are a kind of language common to all the peoples of the world. We are in the age when not one nation alone but many people of many nations cooperate together in producing movies. I do hope that you will feel the breath of those concerned in film making in this occasion. Okinawa is the islands fit for the young, with bright sunshine. We hope that Okinawa will be the Cannes of the East.



**金子 恒彦**  
第4回JCF学生映画祭実行委員  
NHKエンタープライズ21 ドラマ・映像制作部 エグゼクティブ・プロデューサー

「青年よ、大志を抱け！」  
ワールドカップで君達は結実し巨大なエネルギーを世界に示した。

映画の世界に君達のあのパワーが欲しい。  
若者よ若者の映画。  
キーワードは「サポート」と「コンタクト」。  
当映画祭をスタートとして「アワブーム」を起こそう。  
映画市場をジャックしよう。  
私達の志は「世界学生映画祭」の実現にある、世界一の。

**Tsunehiko Kaneko**  
Member of the Executive Committee of the 4th JCF Students' Film Festival  
Executive producer for NHK Enterprise 21, department of drama and pictures

"Young people, cherish a big desire!"  
You have proved in the FIFA World Cup that you can give rise to a tremendous power when united. We want you to display that power in the film making. The movies for the young by the young.  
Key words are "Support" and "Contact".  
Now, let's give rise to "our boom", starting with this Festival. Let's hijack the film world.  
Our big desire is to realize the World Student Film Festival.

MESSAGE

第4回JCF学生映画祭 IN OKINAWA 開催にむけて



**花田 良知**  
第4回JCF学生映画祭実行委員  
映画プロデューサー

本映画祭が夕張から那覇に開催地を移し個性の特化を試みた。一つにスカラシップの実施がある。「デジタルアイランド」沖縄の豊富なハードを活用する具体的スキームとしても注目に値する。一つに今回の「アジアフォーラム」にみられる多様なアジア文化交流の実施がある。沖縄の地政的な特性を展開する試みになると思う。生みの親の北海道の夢を育てる親である沖縄がどう実現するか。地方自治体間の協働も大きな注目に値する。

**Yoshitomo Hanada**  
Film producer  
Chairman of the Executive Committee of the 4th JCF Students' Film Festival

We changed the site to the Festival from Hokkaido to here Okinawa because, for one thing, Okinawa has various advantages as the place for the scholarship to be put into practice, and is furnished with the most up-to-date hardwares. And for another thing, this is the best place for various cultures to interchange as is seen in the programs of Asian Forum. This is, as it were, a test trial to make the most of Okinawa's geographical Advantages.

Born in Hokkaido, the Festival is now the focus of world's attention, and so we are looking forward to the cooperation with the local government bodies.



**桐山 勝**  
第4回JCF学生映画祭実行委員  
日経CNBC代表取締役社長

30数年前、佐藤内閣のもと、政治記者として沖縄返還問題を取材した。安保条約がどのように変質していくのかも重要なテーマだった。しかし、もうひとつ重要なテーマがあった。沖縄はどのように経済的に自立するのか。

当時、正直に言って回答は見えなかった。

しかし、ここ数年來、改めて地政学的な見地から沖縄を見つめるとともに、バイオやITの進展を見るにつれ、マイナスと思っていた事が、実はプラス要素であるように思えてきた。

一昨年の沖縄サミットを前に、地元テレビ局と協力し合い、泡盛に代表されるバイオ技術とアジア・太平洋のIT拠点としての沖縄をそれぞれテーマに2本の番組にまとめたのも、その思いの表れだった。

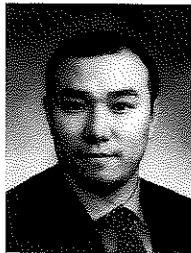
このたび、ITにとって必要なコンテンツのひとつ、映画づくりに賭ける大学生諸君のセンスと知恵と努力の結晶と相まみえる機会を得ることになった。楽しみである。

技術的には未熟でも良い。しかし、志はどうか。今という時代をどう呼吸しているのか、そして未来に何をイメージするのか。そんな視点で審査に当たりたい。

**Masaru Kiriyama**  
Member of the Executive Committee of the 4th JCF Students' Film Festival  
representative of the board of directors of Nikkei CNBC

More than 30 years ago, I visited here as a political reporter to report the affairs of the return of Okinawa to Mainland. United States—Japan Security Treaty was a very important theme those days. But, how Okinawa could be economically independent was another important theme.

Now, for these few year, seen from the standpoint of geopolitical features, it seems to me that Okinawa has many advantages which once seemed to be disadvantages, especially in the fields of biotechnology and IT. Our two programs, which were produced before the Okinawa Summit the year before last, treated the biotechnology in the production of Awamori, and Okinawa as the base for IT in the area of Asia and the Pacific Ocean. I am very happy to be here to see the sense, wisdom, and efforts of those students who devote themselves to film making as an indispensable content to IT industry. Maybe they are technologically immature, but I want to judge their productions from the points of how they look at the present times, and what their images for the future are.



**太田 雅人**  
第4回JCF学生映画祭実行委員会  
プロデューサー  
JCFスカラシップ委員長  
GETTI/JCF グループ代表

2002年ワールドカップに多くの人々が心を熱くして感動した。子供も若者も大人達も一つの事を一心にやり遂げる姿は、周りのものに感動を与える、多くのものに希望をくれる。

今から18年前、大学生の時、学生ビジネスを始めた。失敗をくり返しながらもひたすら前進してきた横らを支えてくれたのは多くの人達と、夢に抱いていた揺るぎない勇氣、やる気だった。やる気は人を変え、その周りさえも変えてしまうパワーなのだ。

そして、そのやる気は、老若男女問わず誰にでも抱ける、世代を越えて共有できるものなのである。

今、僕達にできるのはそんなやる気溢れる学生の可能性を応援する事ではないだろうか。

さあ、映画祭という舞台で存分にそのやる気を発揮してもらおう！

多くの方々の協力、御支援のもと、こうして第4回JCF学生映画祭を迎えることができたことに心より感謝したいと思います。

**Masato Ohta**  
Producer of the Executive Committee of the 4th JCF Students' Film Festival  
Head of JCF Scholarship Committee, and Representative of GETTI/ JCF group

Children, youths, and grown-ups, all were moved and became hot to see the FIFA World Cup, 2002.

It gives excitement and hope to those who look at to see how they devote themselves to one single purpose.

I started a business for student clients 18 years ago when I was a university student, too. It was solely to the understanding of my friends and my own valor that sustained me in spite of my repeated failures.

The will to do is a power that changes you and even the people around you, and it can be shared by young and old, men and women, regardless of generations.

We, the staff of the Asian Film Festival, think it our duty to help your possibilities to come out.

Now is the time you should show your will to do on the stage of this Festival.



**原 孝**  
第4回JCF学生映画祭実行委員  
プレジデント社企画出版部長

今生きる若い人たちが「自らを表現する」ことの大切さと楽しさをこの映画祭を通してぜひ知っていただきたいと思っています。

企業社会で働くことやボランティア活動をしよと、年代や職歴を超えて群れようと、自分が何を考え、何をしたいのかをアピールする一方で、他者が何を考え、何をしたいのかを押し盛り、受け容れようとする「生きる姿勢」がなければ人の輪は拡がりを持ちません。人の輪が拡がらなければ、自らを表現するにも自ずと限界がでてきます。

自己表現の手段として「文章」や「絵画」も有効ですが、デジタル映像技術が向上した今、「主張したいもの」さえあれば「映像」は強力なパワーを持っているはず。これまでは一部の映画青年だけの映画祭のように思われていたかもしれませんが、これからは「映像」というツールを駆使して「大いなる自己表現」に野望を持つ若い人たちの参加を願っています。

**Takashi Hara**  
Member of the Executive Committee of the 4th Students' Film Festival  
the chief of the department of planning and publishing of "President"

I'd like the young people of today to recognize the importance and the pleasure of "expressing themselves" through this Festival. No matter what kind of jobs you are doing—working for enterprises, participating in volunteer activities, or just meeting together regardless of ages and careers, to mention a few—you should not only assert yourselves by expressing what you are thinking if and what you want to do, you should also listen to what others are thinking of and what they want to do. This is the only to expand your acquaintance circle, and unless it is expanded, you are only limiting your world of communication. As a means of expressing yourselves, writing and painting may be effective, it is true, but in this age of high digital technology, you can use the pictures as a means of expressing yourselves.

It seems to me that this Festival is not only for those youths who are interested in making films but, I do hope, those who are ambitious to express themselves in large scale by means of pictures will participate, too.



**近藤三千彦**  
第4回JCF学生映画祭事務局長

「映画監督になりたい」「デザイナーになりたい」「新しいビジネスフレームを提案したい」といった若者の多様な夢に対して、実社会にはあまりにチャンスが乏しく、若者のモチベーションを低下させることしかできていません。「今の若者には志がない」「今の若者は努力しない」という世間一般の考え方に私たちは賛同しません。長年、学生を中心とする若い世代の近くで事業を展開してきた立場として、「社会が若い才能と努力を引き受けていないことが問題である」と思っているからです。

今後も我々は様々な企業からのご協力のもと、学生が「プロに提案できる場」を創出していきたいと思います。

**Michihiko Kondo**  
Head of the secretariat of the 4th JCF Students' Film Festival

I am strongly aware that there are many people in younger generations of today who say, "I'd like to be a film director," or "I'd like to be a production designer," or "I've got a new frame of business to propose," and so on. It is also true, however, that in the actual world there is very little chance to give for them, and this only helps to lower their motivation.

Some people say, "Young generations are lacking in aspirations," or "They don't do their best," and so on. But we don't agree to such opinions, for, as a result of our efforts to develop various kinds of business with young generations for many years, we have reached the conclusion that the main problem rather lies in the world of elder generations who won't recognize and accept their possibilities. We do hope that, from now on too, we will be able to create as many chances as possible where students can offer fresh proposals to professionals with the help of various kinds of enterprises in many ways.

# JCF学生映画祭 三つの柱

Competition, Incubation, Forum & Invitation

### Competition コンペティション部門

「JCF学生映画祭」は、学生の映画の祭典です。1999年以来、一貫して「才能の発掘と育成」を掲げてきたことで、多くの若者の注目と支持を集め、現在、日本を代表する学生映画祭となりました。本年は、学生が自らの思いをぶつけた映画・109作品の応募がありました。応募作品は、21人の監督、撮影監督など第一線で活躍するプロの映画スタッフにより審査されます(第一次審査)。第一次審査を通過した作品は、入選作品として映画祭会場で上映され、最終審査を経て、グランプリが決定されます。

グランプリ

最終審査

第一次審査

作品応募

### Incubation

#### インキュベーション(スカラーシップ)部門

JCF学生映画祭のグランプリ受賞監督には、「JCFスカラーシップ制度」が適用されます。「JCFスカラーシップ制度」とは、優秀な学生自主映画監督を資金・技術・設備の面でバックアップし、プロのプロデューサー、スタッフと共に新作映画を製作する機会を与える制度です。第3回(2001年)から発足し、今年の第4回JCF学生映画祭で、昨年のグランプリ監督と第3位の監督の2作品がその適用を受けた新作を披露上映します。うち1作品「364days」は、オキナワ・コンテンツ・ラボの第1作となりました。

JCFスカラーシップ制度・製作支援

オキナワ・コンテンツ・ラボ

スカラーシップ作品

上映

### Forum & Invitation

#### フォーラム & 招待映画上映部門

本年は中国、韓国、台湾、香港のアジア4地域から著名な映画監督を1名ずつ招待し、映画についてのトークセッション「アジア映画フォーラム」を開催いたします。さらに中国、韓国、台湾、香港の4地域から1名ずつ映画監督を招き、彼らの学生時代の作品を招待上映することにより、映画を接点としたアジアの若者の交流の場を創出いたします。日本の学生映画祭として出発した「JCF学生映画祭」は、2002年に「アジア」、2003年には「世界」に照準をおいた学生映画祭へと発展いたします。

アジア映画フォーラム

アジア招待作品上映

スカラーシップ作品上映

交流の場

- 6 MESSAGE  
第4回JCF学生映画祭 IN OKINAWA 開催にむけて
- 8 OUTLINE  
JCF学生映画祭3本の柱
- 9 INDEX  
目次
- 10 JURY  
審査員
- 16 NOMINEE  
第1次審査通過作品
- 20 JCF SCHOLARSHIP  
JCFスカラーシップ
- 23 JCF ASIA MOVIE FORUM  
JCFアジア映画フォーラム
- 25 ASIAN STUDENTS' FILMS  
アジア招待学生映画

EDITOR・DESIGNER 大塚 裕隆  
ASSISTANTS 山下 秀徳、宇武 善隆、大河原 兼士、清水 謙了、岩井 勉次  
小島 吉倫(早稲田大学)、大庭 裕美(成蹊大学)、藤川 久貴(明治大学)  
DTP 橋井 啓子(福宇宙)、MAPS Inc.

表紙  
イラスト 紀平桃佳 / KIHIRA MOMOKA  
1996年 青山学院女子短期大学芸術学部卒業後、イラスト活動に入る。渋谷区赤坂ビル、自由が丘CARTO TERRA、吉祥寺PARCOなどにて、数々のイラスト展開。雑誌のイラスト、雑誌の表紙などを手がける。

© JCF学生映画祭実行委員会 2002 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

	7.3(wed)	7.4(thu)	7.5(fri)	7.6(sat)	7.7(sun)
11:00	コンペティション上映A COMPETITION-A ルームメイト 奉行之恋 若葉の頃に~青の時代編~ p16	コンペティション上映B COMPETITION-B ウツロモノ わかめつば a myth キャビアガール p16	JCFスカラーシップ制作作品 不登校 -人の群れ合いの中で考える- 上映 p22	JCFスカラーシップ制作作品 不登校 -人の群れ合いの中で考える- 上映 p22	アジア学生映画招待上映 ASIAN STUDENTS' FILMS 沿江而上 [中国] The Eyelashes [韓国] THE CROSSING [香港] Van Gogh's Ear [台湾] JCFスカラーシップ制作作品 364days 上映 p25 p21
12:00	コンペティション上映B COMPETITION-B ウツロモノ わかめつば a myth キャビアガール p16	コンペティション上映C COMPETITION-C 石に激がれホトギス MIZUSHIMA INVADER TOWN ひとりの男とひとりの女の子の話 p17	受賞作上映 PRIZE-WINNING FILMS	舞台挨拶 アジア学生映画招待上映 ASIAN STUDENTS' FILMS 沿江而上 [中国] The Eyelashes [韓国] THE CROSSING [香港] Van Gogh's Ear [台湾] JCFスカラーシップ制作作品 364days 上映 p25 p21	JCFスカラーシップ制作作品 不登校 -人の群れ合いの中で考える- 上映 p22
13:00	コンペティション上映C COMPETITION-C 石に激がれホトギス MIZUSHIMA INVADER TOWN ひとりの男とひとりの女の子の話 p17	コンペティション上映D COMPETITION-D ゴールドフィッシュ はながないたらバりがくる ざくろの夢 プレゼント p17	受賞作上映 PRIZE-WINNING FILMS	受賞作上映 PRIZE-WINNING FILMS	受賞作上映 PRIZE-WINNING FILMS p16
14:00	コンペティション上映D COMPETITION-D ゴールドフィッシュ はながないたらバりがくる ざくろの夢 プレゼント p17	コンペティション上映E COMPETITION-E UNTHINK 床下水面下 angle of angel p18	ヨトヨトフィリス行が 主催 世界のCMフォーラム CM FORUM 出演: ジャックリスタン・ブーヴィエ	受賞作上映 PRIZE-WINNING FILMS	
15:00	コンペティション上映E COMPETITION-E UNTHINK 床下水面下 angle of angel p18	授賞式 PRIZE-GIVING CEREMONY ゲスト挨拶	JCFアジア映画フォーラム JCF ASIA MOVIE FORUM 第1部 芸術と商業 第2部 自分の映画をいかにして 制作し実現するか 第3部 メッセージ	JCFスカラーシップ制作作品 364days 上映	アジア学生映画招待上映 ASIAN STUDENTS' FILMS 沿江而上 [中国] The Eyelashes [韓国] THE CROSSING [香港] Van Gogh's Ear [台湾] p21 p25
16:00	コンペティション上映A COMPETITION-A ルームメイト 奉行之恋 若葉の頃に~青の時代編~ p16	JCFスカラーシップ制作作品 364days 上映 p23 p21	[出演監督] 張 榮貴、章 明 朴 起鏞、舒 琪 崔 洋一 p23		
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					

※ スケジュールに変更がありましたのでご注意くださいようお願い申し上げます。

01 | FINAL 最終審査員



崔 洋一/Youiti Sai

日本/Japan  
映画監督/Director

1949年(昭和24年)7月6日生まれ。長野県に朝鮮系2世として生まれる。高校卒業後、照明助手として映画界に入り、大島渚監督の『愛のコリーダ』、村川透監督の『最も危険な遊戯』で助監督を務める。81年にテレビ映画『プロハンター』で監督デビューを飾る。83年に『十階のモスキート』でヴェネチア国際映画祭に参加。また『月はどっちに出ている』では、日本アカデミー賞監督賞など様々な賞を受賞し、ベルリン国際映画祭などでも上映された。96年『マックスの山』が映画芸術にてベスト1となる。

Born in 1949 in Nagano Pref. as a Korean Nisei. After leaving a high school, he entered the film world as an assistant illuminator and served the noted film directors Nagisa Oshima and Tohru Murakawa respectively as an assistant director. In 1981 he made his debut as a director with the TV movie "Pro Hunter". In 1983 he exhibited his film "Mosquitos in the 10th Floor" for the Venetian International Film Festival. He then awarded the Japan Academy Best Film Director prize and others for his film "Which side is the Moon up?" which was shown at the Berlin International Film Festival. In 1996 his film "Mountains of Marks" was selected as No. 1 of the best film arts.



高 秀蘭/Shirley Kao

台湾/Taiwan  
映画プロデューサー/Producer

1950年生まれ。台湾テレビのプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年有限会社ニューウェイブを設立。以降、中国語圏の優れた監督作品の製作・配給を行う。カンヌ映画祭グランプリを授賞した台湾の侯孝賢(ホウシャオシェン)監督の『悲情城市』(1988年)、『戲夢人生』(1991年)のプロデューサーをはじめ、中国の陳凱歌(チェンカイコー)監督の『さらば、わが愛/覇王別姫』(1993年/カンヌ映画祭パルムドール授賞)、『花の影』(1996年)、『始皇帝崩壊』(1998年)のプロデューサーを手がける。また中国の張芸謀(チャンイーモウ)監督の『紅夢』(1991年)、『活着』、『上海ルージュ』(1995年)のポストプロダクションなど、他にも多数の作品を手がける。

Born in 1950. After a career as a TV producer in Taiwan, she founded the New Wave Co., Ltd. in 1986. Since then she produced and distributed various films by prominent directors, such as 侯孝賢(非情都市) (1988) which was awarded the Grand Prix at the Cannes Film Festival and 『戲夢人生』 (1991) made by Taiwanese director Hsiao Hsien Hou, 『Goodbye My Love/霸王別姫』 (1993) directed by Kaige Chen and awarded the Palme d'Or at the Cannes Film Festival, 『花の影』 (1996), 『始皇帝崩壊』 (1998), etc. She also took part in postproductions of 『紅夢』 (1991), 『活着』 『上海ルージュ』 (1995) and others.



舒 琪/Shu Kei

香港/Hong kong  
映画監督/Director

1956年生まれ。香港大学英文学系卒業。香港中文大学講師を経て、香港演藝學院Film/TV学部教授。テレビの脚本家として出発し、早くから映画批評を手がける。後に映画の脚本や助監督を務める。また『電影雙周刊』など雑誌編集にもエディターとして手腕を発揮。映画監督としては障害者の恋物語『雨小無知』(1981年)でデビューし、代表作『ソウル』(1986年)を演出。ドキュメンタリー作品『完全版SUNLESS DAYS ある香港人の天安門』(1990年、短縮版はNHKで放映)はベルリン映画祭 金キリスト賞、リミニ映画祭特別賞を受賞。『虎度門』(1996年、邦題『喝采の扉』)ではアジア太平洋映画祭 主演女優賞を受賞し、アカデミー賞最優秀外国語映画部門の香港出品作品に選ばれた。また『悲情城市』『さらば、わが愛』では映画製作・配給の立場から現場に協力。『中国美少年』『天安門演義』などの小説もある。

Born in 1956. Graduated the department of English Language of Hong Kong University. Professor of Film/TV department of Hong Kong Art Academy. Starting as a scenario writer, he took part in criticizing movies, and later on he acted as an assistant director. She made a debut as a director in 1981 by a love story of the handicapped and as an actress he was awarded the Leading Actress prize in the film "Kassai noBira" in Japanese at the Asia-Pacific Film Festival.



金子 恒彦/Tsunehiko Kaneko

日本/Japan  
NHKエンタープライズ21  
ドラマ・映像制作部 エグゼクティブ・プロデューサー

1955年 東京大学文学部卒業、NHK入局。「こんには奥さん」他制作。1969年『ステージ101』『ふるさとの歌まつり』等制作。1973年『紅白歌合戦』演出。1974年『土曜日ひる席』他制作。1978年『あなたのメロディー』『ビッグショー』演出・制作、『レッツゴーヤング』『ヤングスタジオ101』『世界のマジックショー』他 特集番組のプロデューサー、『紅白歌合戦』プロデューサー。1994年 NHK衛星放送局エグゼクティブ・プロデューサー、『BSジャズ喫茶』『真夜中の王国』『ウィークエンドジョイ』等企画・制作。1998年 NHKエンタープライズ21 エグゼクティブ・プロデューサー。2001年 映画『カルテット』製作プロデューサー、エンターテイメントスペース『エバーグリーン・マノリア』(福岡市)設計及びトータルプロデューサー。

Graduated Tokyo University, entered the service of NHK Tokyo Station, produced programs such as "Hello Madams" (こんには奥さん), "Stage 101" (1969), "Song Festival of your Hometown" (ふるさとの歌まつり), in 1974 produced such as "Saturday Show at Mountime" (土曜ひる席) and others. In 1986 he directed "Your Melodies" (あなたのメロディー) "Big Show", produced "Let's go Young" "Young Studio 101" "Magic Show of the World" "Singing Contests between Male Singers and Female Singers" (紅白歌合戦), etc. In 1994 he became an executive producer of NHK Satellite Broadcasting Station and produced "BS Jazz Tearoom" "Midnight Kingdom" "Weekend Joy" and others. He became an executive producer of NHK Enterprise in 1998 and produced a film titled "Quartet" the next year, and designed and produced an entertainment space "Evergreen Manoria" in Fukuoka.



桐山 勝/Masaru Kiriyama

日本/Japan  
日経CNBC代表取締役社長

1967年、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、日本経済新聞社に入り、社会部、政治部、流通経済部、産業部などで取材。日経BPで月刊誌編集長、日本経済新聞社出版局で企画開発部長。日本人のマナーの美学をテーマにした『江戸の繁盛しぐさ』や企業の社会との関わり方を広報の視点から整理した『企業広報講座全5巻』などを企画、編集。テレビとの関わりは、ロサンゼルス特派員時代(1980-1984年)から営業推進部の部長時代はテレビ東京系列でパリアフリーのキャンペーンやエレクトロニクス分野の番組を手がける。95年、テレビ大阪の報道局長に就任してからは和歌山銀行の倒産をテーマにしたドキュメンタリーや幼児の心臓移植キャンペーン、文楽などをプロデュース。99年から現職。経済のもっとも基本的な指標である株値を軸に東京証券取引所から中継するライブ&コメント番組を売り物に、『経済〇見え』をモットーにしたCS 経済専門チャンネル(有料契約世帯は420万強)の経営にあたっている。モバイル&ブロードバンドをテーマにしたT21シリーズ(1-5集)、金やプラチナなどの商品先物シリーズ(1-5集)、各自治体の行政をとりあげる知事さんシリーズ(1-17集)などを総合プロデュース。

Graduating Waseda University in 1967, he worked in the section of local news, politics, distributive economy, industry, etc. of the Nihon Kaizai Shinbun. Successively occupied the posts of the editor of monthly at Nikkei BP, the head of the planning and publishing department, he planned and edited two books—one is "Prosperity Manners of Edo" (江戸の繁盛しぐさ) in which the theme of Japanese aesthetics of manners was treated and the other is a 5-volume work titled "Lectures on PR of Enterprises" (企業広報講座全五巻). He worked in Los Angeles from 1980 to 84 as a special correspondent, and it was during that time that he came to be related with the TV world, and he engaged in campaigning the protection of barrier reefs and developing TV programs of electronics. In 1995, when he became the head of the press section of TV Osaka, he produced various programs, such as a documentary which treated the bankruptcy of the Bank of Wakayama, campaigning the children heart transplants and Dunaku, a puppet theater. He has been at the present post since 99, and is managing TV channels exclusively concerned with economy, recognizing that stock quotations are the basic indexes of economy.



ルーカス/Lukas Schwarzacher

オーストリア/Austria  
映画プロデューサー/Producer

1956年オーストリア、ウィーン生まれ。ウィーン大学で中国語や中国の文化歴史を学び、その後初の現学生としてアジアを訪問。中国の文化歴史に關しての修士課程を終る前までアジアを広く回った。1981年から1991年の間東京を拠点にドイツ通信各社の極東特派員として働く。その間ドイツ語でアジアについての多数の書籍を出版。1991年に香港に移った後、ヨーロッパとアジアの映画共同製作プロジェクトを手がける製作会社を設立し『ホテル上海』等の製作にたずさわった。また、製作コンサルタントとして自身のKIR FILMというレーベルを東京で立ち上げアジアで異なるタイプの7つの映画プロジェクトを展開している。1996年からはドイツ映画プロデューサー協会とドイツ映画協会アジア支局の代表を務め、2001年からはアメリカ最有力エンタテインメント雑誌「バラエティ」の日本特派員としても活動している。

Born in Vienna in 1956, majored in Chinese language and Chinese cultural history in Vienna University, he visited Asia as the first scholarship student, traveled around Asia until before finishing the Masters course. From 1981 to 91, he worked for several German news agencies as a Far East correspondent, and wrote a variety of German books concerning Asia. In 1991 he moved to Hong Kong and set up a production company for making joint projects between Europe and Asia. He now works in Tokyo as a consultant for producing films with the label "KIR FILM" and is developing 7 type-film projects in Asia. He has been a representative of German Film Producing Association and the Asian branch of German Film Association since 1996 and also, since 2001, he has been a special correspondent in Japan for the Americas biggest entertainment magazine "VARIETY."



中野 裕之/Hiroyuki Nakano

日本/Japan  
ビースな映像作家/Peacedelic creator

1958年広島県福山市生まれ。早稲田大学商学部卒業後、TV局に5年勤務の後、日本初の本格的なミュージック・ビデオ制作会社となったタイレル・コーポレーションを設立。傍ら、ビデオアート作家として、ブラジル、フランスなどで作品を公開。1990年、MTV MUSIC AWARD部門にノミネートされたディー・ライト『GROOVE IS IN THE HEART』以来、精力的に海外で活動。93年、ビースデリックをスタート。さらにビースな映像を研究、創造するため日々精進する。ミュージック・ビデオを中心とする映像は世界中で放送され、ポール・ウェラーをはじめ多くのクリエイターから支持を得る。音楽以外にも、イルカをはじめとする自然の映像を制作。96年、日光江戸村で撮ったPHOTEK (イギリスのドラムベースアーティスト)の『二天一流』は『SF サムライフィクション』の予告編的作品で、海外のMTVで熱狂的なファンを作り、エジンバラ国際映画祭Mirrorballでも上映された。主な劇場映画作品に『SF サムライフィクション』(1998年、第2回ブチオン国際ファンタスティック映画祭グランプリ受賞 第53回毎日映画コンクール スポニチグランプリ新人賞、第24回おおさか映画祭 新人監督賞、第13回高崎映画祭 若手監督グランプリ)、『SF STEREO FUTURE』(2001年)、『RED SHADOW 赤影』(2001年)があり、2002年夏には『SF Short Films』が公開される。デジタル写真集『SF SWEET FEMALE』出演 森生久美子 桃生亜希子を発表するなど、新しい映像の形をどんどん開発中である。

Born in 1958. Graduated Waseda University. After working for TV station for 5 years, he founded a music video producing company "Tyrel Corporation", the first one worthy of the name in Japan. On the other hand he extended his working area as a video artist towards Brazil and France and others. In the meantime, "Groove is in the Heart" was nominated for six awards, and since then he has been performing very actively over the world. In 1998, he started "Peacedelic", and his music videos are well commented on by many creators. He is also producing the visual modes of life of natural worlds like those of dolphins. He has won a lot of award so far, such as Grand Prix, the prize for new talents, the prize for new directors, Grand Prix for young directors, etc.



KOKIA

日本/Japan  
ミュージシャン/ソングライター/vocalist

1999年、自作曲『ありがとう』が香港の国際流行音楽大賞に選ばれ、以来、香港、台湾を中心に高い評価を受けているシンガーソングライターKOKIA。独特の民族的歌いまわしが国境を越えて人々の心に語りかける。その壮大な世界観はヨーロッパでのCM、中国上海でのCMと、ワールドワイドな活躍からも伺いしれる。新しさを求める歌声、音の持つスケール感に映画音楽として、また新たなつぼみを開かせようとしている。(http://www.kokia.com)

In 1999 "Thank you. ありがとう" of her own making awarded the grand prize for International Popular Music in Hong Kong, and since then she has been highly commented on as a singer songwriter in Hong Kong, Taiwan and other Asian countries. Her unique way of singing touches the heartstrings of all the people regardless of nationality. Her appealing voice and its scale are sure to produce a new feature as scenic music.



三上 智恵/Chie Mikami

日本/Japan  
キャスター/TV caster

1964年8月13日生まれ琉球朝日放送ワイドニュース「ステーションQ」メインキャスター。成城大学で沖縄民俗学を専攻、現在も仕事の傍ら国際大学大学院で南島民俗を研究中。司会やアナウンス業だけでは飽き足らず取材、番組制作も手がけ、沖縄戦のドキュメンタリー「語る死者の心術」は2000年度民放祭ドキュメンタリー部門優秀賞、テレメンタリー年間優秀賞を受賞、そのほか6年間通っている那国の海底遺跡に関する番組では民放祭はじめプロGRESS賞、国際海洋映画祭ノミネートなど映像作品も各方面から評価を受けている。(「沖縄海底遺跡」はDVD、VHS作品としてバイオニアから発売中)毎日放送の局アナ時代、縦横無尽な映画トークで深夜ながら高視聴率を維持した伝説的映画番組「シネマチップス」で一世を風靡。あくまで素人の感性にこだわった表現が共感を得、沖縄地元紙でも映画コラムを持つ。今も年間100本は見る無類の映画好き。

Born in 1964. Main caster of the wide news program "Station" by Ryukyusu Asahi Broadcasting Station. Majored in ethology of Okinawa in Seikei University. Even now she is studying ethology of the southern islands in the postgraduate course of International University. Apart from that, she goes out to gather materials and produces a TV program. A documentary of the wars on the Okinawa Islands "A Canteen of a Dead Soldier Speaks" is one of them. She has been engrossed for 6 years in studying the submarine ruins around Yanaguni, of which some researches have been telecast as feature programs and very highly commented on.



前北 美弥子/Miyako Maekita

日本/Japan  
クリエイティブディレクター/Creative Director

広告コピーライター・CMプランナー。クリエイティブディレクター、2児の母。東京生まれ。台湾、香港、オランダ、イギリスを転々、大学在学中はアジアを放浪しつつ『御機嫌公論』編集長。1990年「サリダ」のCMでTCC新人賞受賞。1991年東しのCM「みんなが鳴っている」でN.Y.ADC賞、ACC賞テレビ・ラジオ部門、アジア広告賞など受賞。ソーシャルコミュニケーション研究会員。1997年より日本自然保護協会をクリエイティブサポーター。グリーンビース・クジラキャンペーン、WWF森林認証キャンペーンを手掛ける。ワールドビジョンジャパンのポスターでHYタイポディレクターズクラブ賞受賞。上智大学非常勤講師。各誌で環境ライターとしても活躍中。

Born in Tokyo, and a mother of 2 children. Traveled in Taiwan, Hong Kong, Holland and England. While in university, she edited "Gokigen Karon" and wandered all round Asia. In 90 she was awarded TTC prize for a new talent for her CM, and in 91, she was again awarded the N.Y.ADC prize and the Asian Commercial prize. Since 97, she has been supporting the Nature Conservation Society of Japan. As an NGO PR creative director. She also takes part in campaigning Greenpeace, Whale fishing control, and WWF Forest Attestation. Her poster for the World Vision Japan was awarded NY Typodirectors Club prize. A part-time teacher of Sophia University.

## 02 | PRELIMINARY 一次審査員

第4回JCF学生映画祭の第一次審査では、映画製作の第一線で活躍するプロの映画人21人に審査をお願いし、全ての応募作品に対して、コメント付きの採点票を頂いた。採点票は全応募者へ郵送された。

### 芦澤 明子 Akiko Ashizawa 撮影監督

東京都出身。伊東英男、押切隆世などの助手を経て、1982年、撮影者として独立。第一回担当作品は「VCF『週刊住宅情報』(川崎徹監督)」。主な撮影作品に『UNLOVED』(2001、監督:万田邦敏、第54回カンヌ国際映画祭エキュメニク新人賞、レール・ドール賞受賞作品)、『みすゞ』(2001、監督:五十嵐匠)、『守ってあげたい』(1999、監督:錦織良成)、『火星のわが家』(1999、監督:大島拓)、『タイムリープ』(1997、監督:今関あきよし)、『忘れてはイケナイ物語り・オキナワ』(2001、監督:御法川修)、TVドキュメンタリー『かあさんぼく死ぬのはいやだ』(愛と感動の1002日・じん蔵移植の記録)(1998、監督:門田得三、放送文化基金入選作品)最新映像に今年の2月に渋谷パルコスクエア7にて開催された「松田優作と現代のクリエイターたち」展の中の寺島進、長瀬正敏へのインタビュー映像がある。著書に写真集「木造校舎の思い出(関東編)」「木造校舎の思い出(近畿・中国編)」(情報センター出版局)CD-ROM「木造校舎」(発売:シンフォレスト)がある。

### 猪本 雅三 Masami Inomoto 撮影監督

1959年大阪府生まれ。横浜放送映画専門学院(現、日本映画学校)卒業後、1980年円谷プロの「ウルトラマン180」の撮影助手に。1982年につかつ撮影所と契約し、『家族ゲーム』(1983、監督:森田芳光)、『すかんびんウオーク』(1984、監督:大森一樹)などにスタッフとして参加。1988年からフリー。主な撮影作品に映画『バトル・ヒーター』(1987、監督:飯田譲治、特撮部分のみ担当)、『椰子』(1991、監督:原隆志)、テレビドキュメンタリー『たゆたふに故郷』(1998、演出:河瀬直美)がある。また『MOTHER』(1999、監督:諏訪敦彦、第52回カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞受賞)では、第43回三浦賞(日本映画撮影監督協会新人賞)を受賞。以降『独立少年合唱団』(2000、監督:緒方明)でヨコハマ映画祭撮影賞、『火垂』(2001、監督:河瀬直美)でブエノスアイレス国際映画祭最優秀撮影監督賞をとる。『人間の屑』(2001、監督:中島竹彦)など話題作を次々と手掛けている。最新作は『まぶだち』(2001、監督:古坂智之)。

### 上野 彰吾 Shogo Ueno 撮影監督

1960年東京都生まれ。明治大学文学部演劇学科卒業。現在、日活(株)撮影部所属。前田米造カメラマン、高瀬比呂志カメラマンの下で撮影助手として経験を積む。前田カメラマンのセカンド助手をつとめていた頃、森田芳光監督の現場で出会った篠原哲雄と8ミリの自主制作映画『RUNNING HIGHT』を製作。89年の「びあフィルムフェスティバル」(PFF)にて特別賞を受賞する。その後再び自主制作した16ミリ作品『草の上の仕事』が1993年「神戸国際インディペンデント映画祭」でグランプリを受賞したことがきっかけとなり、崔洋一監督の劇場用映画『東京デラックス』でカメラマンとしてデビューする。その後、『渚のシンドバッド』(1995、監督:橋口亮輔、96年ロッテルダム映画祭グランプリ受賞)、『月とキャベツ』(1997、監督:篠原哲雄、1997年モントリオール国際映画祭正式出品作品)、『ハッシュ!』(2001、監督:橋口亮輔、2001年カンヌ国際映画祭監督週間正式出品作品)など、若手映像作家の劇場用映画ビデオシネマなどを数多く手掛ける。他の主な撮影作品に『コキウ(貝殻)』(1997、監督:中原俊、1999年日本批評家連盟賞グランプリ)、『洗濯は俺にまかせろ』(1998、監督:篠原哲雄)、『きみのためにできること』(1998、監督:篠原哲雄)、『コンセント』(2001、監督:中原俊)などがある。

### 大岡 新一 Shinichi Ooka 撮影監督

1983年、『だじょうぶマイ・フレンド』(監督:村上龍、撮影監督:岡崎宏三)で撮影をつとめた後、『ウルトラマンZOFFEY ウルトラ戦士vs大怪獣軍団』(84年、監督:高野宏一)、『ブルシアンブルーの肖像』(86年、監督:多賀英典)、『あいつに恋して』(87年、監督:新城卓)、『ウルトラマン ワンダフルワールド ウルトラマン ゼラス』(96年、監督:中島信也)、『新宿少年探偵団』(98年、監督:瀬井正文)、『ウルトラマンティガ THE FINAL ODYSSEY』(00年、監督:村石宏實)、『ウルトラマンコスモス』(01年、監督:飯島敏宏)の撮影や、『テラ戦士Ψ B O Y』(85年、監督:石山昭信)、『ウルトラQザムビー 星の伝説』(90年、監督:実相寺昭雄)の特殊技術撮影を手がける。また、1987年には日本映画テレビ技術協会柴田賞を受賞。

### 大林 宣彦 Nobuhiko Obayashi 映画作家

作家1938年、広島県尾道生まれ。幼少の頃から映画制作を始め、大学に入った頃から本格的に自主制作映画を撮り始める。その後、CMディレクターとして、まだ創世期にあったCM業界で名作といわれる「レナウン」やチャールズ・ブロンソンを起用した「マンガム」など多くのCMを手掛けている。そして、1977年に『HOUSE/ハウス』で商業映画にも進出。主な代表作に“個人映画三部作”『Complex=温熱の玻璃あるいは悲しい鏡舌ワルツに乗って葬列の散歩道』(1964年)、『EMOTION=伝説の午後 いつか見たドラキュラ』(1966年)、『CONFESSION=遙かなる懐れギロチン恋の旅』(1968年)、“尾道三部作”『乾枝生』(1982年)、『時をかける少女』(1983年)、『さびしんぼう』(1985年)、『青春デンデケデケ』(1992年、日本映画批評家賞・芸術選奨文部大臣賞受賞)、“新・尾道三部作”『ふたり』(1991年、アメリカ・ファンタスティックサターン賞)、『あした』(1995年)、『あの夏の日—とんでろ じいちゃん—』(1999年)、4月からは最新作『なごり霧』の大分県白梓市から全国に向けての上演活動を続けている。また、映画製作だけでなく講演会や作詞作曲、テレビ出演、執筆など幅広い活動を行っている。主な著書に『むらびい・こんさあと』『映画いい人ばかり』『日世は好日—五嵐十雨日記』などがある。

### 阪本 善尚 Zensho Sakamoto 撮影監督

『HOUSE』(1977年、監督:大林宣彦)での撮影をはじめ、『尾道三部作』、『天国一番近い島』(84年)、『はるか、ノスタルジィ』(1993年)、『水の旅人 侍KIDS』(1993年)など大林宣彦監督作品の撮影監督や『KAMIKAZE TAXI』(95年)、『パウンス ko GAL'S』(1997年)、『金融高利貸 呪縛』(1999年)といった原田真人監督作品の撮影をつとめる。その他の撮影作品に『オレンジロード急行』(1978年、監督:大森一樹)、『家なき子』(94年、監督:細野英延)、『Quartet』(01年、監督:久石譲)、『6週間プライベートモーメント』(01年、監督:塩屋俊)がある。劇場公開最新作は5月ロードショウの原田真人監督の『突入せよ!『浅間山荘事件』』(2002)、『郷愁』(1988、監督:中島文博)で毎日映画コンクール撮影賞をとっている。

### 高間 賢治 Kenji Takama 撮影監督

東京都立大学在学中から若松プロにて撮影助手を始め、1975年にCFカメラマンとして独立。『月山』(1978、監督:村野鐵太郎、文化庁優秀映画、アメリカ・アカデミー賞日本代表)が劇場映画第一回作品となる。その後1981年には文化庁芸術家在外研修制度により渡米、ジョン・アロンゾ(『ブルーサンダー』)、オーウェン・ロイズマン(『トツツイー』)、ゴードン・ウィリス(『ブロードウェイ・ダンローズ』)などの撮影監督からトレーニングを受ける。日本映画撮影監督協会理事、技術委員長、著作権委員。主な受賞歴は『1999年の夏休み』(1987、監督:金子修介)、『風の又三郎—ガラスのマント』(1988、監督:伊藤俊也)、とで横浜映画祭撮影賞、『高校教師』(1993、監督:吉田健)、『あひるのうたがきこえてくるよ』(1993、監督:椎名誠)でおおさか映画祭撮影賞、『白い馬』(1994、監督:椎名誠)でポロランド映画祭審査員撮影賞、『ラヂオの時間』(1997、監督:三谷幸喜)で日本アカデミー賞優秀撮影賞をとる。その他の代表撮影作品に『ピリ☆ザキキッドの新しい夜明け』(1986、監督:山川直人)、『洗濯』(1991、監督:巖士三男)、『12人の優しい日本人』(1991、監督:中原俊)、『ナビの恋』(1998、監督:中江裕司、文化庁優秀映画賞)、『クロスファイア』(2000、監督:金子修介)、『みんなのいえ』(2001、監督:三谷幸喜)がある。著書に『撮影監督ってなんだ?』『シーナ映画とコピー映画』(共に晶文社)がある。FROG賞受賞などがある。

### 高橋 伴明 Banmei Takahashi 映画監督

1949年奈良県生まれ。早稲田大学第二文学部入学と同時に、映画研究会に所属。当時の学生運動に参加していたが大学卒業後、本格的に映画界入り。1972年『婦女暴行脱走犯』で監督デビュー。一次映画界を離れるがその後、若松孝二監督に見込まれ、1976年『赤行記録 少女売春』でカムバック、以後、60本以上のピンク映画を手がける。1982年に市中銀行で起きた人質ろう城事件の裏話に基づく『TATTOO(刺青)あり』で、ヨコハマ映画祭監督賞を受賞、同年度キネマ旬報ベストテン第6位となる。1982年9月に長谷川和彦を中心とする監督集団ディレクターズ・カンパニーに参画、『狼』(1982年)、『ザ・力道山』(1983年)、『DOOR』(1988年)を撮る。以後映画のみならずCM、TVドラマなども手がけ、脚本・演出・プロデュースと幅広く活躍中。その他の主な作品に『ネオ・テンピラ鉄砲玉びゅう〜』(1990年)、『獅子王たちの夏』(1991年)、『愛の新世界』(1994年)、ロッテルダム映画祭出品、おおさか映画祭監督賞受賞、『セラフィムの夜』(1995年)、『迅雷』(1996年)、『大いなる完』(1998年)、『光の雨』(2001年)がある。。日本映画撮影監督協会会員、日本映画テレビ技術協会評議員、東京藝術大学美術学部講師。

### 中島 信也 Shinya Nakajima CMディレクター ・映画監督

1959年 福岡県生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。現在、株式会社東北新社取締役 CM本部企画演出部長。多摩美術大学教授(グラフィックデザイン学科)。1993年日清カップヌードル「hungry?」シリーズでカンヌ国際広告祭グランプリ。1991年フジテレビキャンペーン「ロイド」で東京ADCグランプリ。2001年ミドリ安全「喫煙亡命者篇」でアジア・パシフィック広告祭グランプリ。代表作はアリナミンV「シュワルツェネッカーシリーズ」、サントリー角瓶「鹿賀文史シリーズ」、オンワード23区「中山美穂シリーズ」、サントリーDAKARA「小僧小僧シリーズ」、ホンダStepWGNシリーズ、最近ではサントリー角瓶「矢沢永吉シリーズ」、奥田民生「マシマロ」「カスタム」p.v.、KDDI「永瀬・浅野シリーズ」、資生堂「化粧感」、NOVA「宇宙人」など。996には劇場用映画「ウルトラマンゼラス」監督。また、NHK BSの番組「デジタルスタジアム」にレギュラー出演、7月3日まで東京都写真美術館で開催されている「デジスタ展」にも作品を出品中。

### 長田 勇市 Yuiichi Nagata 撮影監督

1950年沖縄県石垣島出身。1973年に東京写真専門学校(現、東京ビジュアルアーツ)を卒業。1976年、ドキュメンタリー『Bastard on the border』でデビュー。主な撮影作品に『TATTOOあり』(1982、監督:高橋伴明)、『夢みるように眠りたい』(1985、監督:林海象)、『ファンシーダンス』(1989、監督:周防正行)、『ひき逃げファミリー』(1992、監督:水谷俊之)、『遙かな時代の階段を』(1994、監督:林海象)、『がんばっていきまっしょい』(1997、監督:磯村一路、ヨコハマ・おおさか映画祭撮影賞)、『高嶺』(1999、監督:野村万之丞)、『式SHIKI-JITSU日』(2000、監督:鹿野秀明、東京国際映画祭優秀芸術賞)、『ウォーターボーイズ』(2000、監督:矢口史靖、第25回日本アカデミー優秀作品賞、毎日映画コンクール第56回日本映画優秀賞など)、『ひとりね』(2000、監督:すずきじゅんいち)、『群青の夜の羽毛布』(2001、監督:磯村一路)、『空が、近い』(2001、監督:福岡芳雄)などがある。

**林海象**  
Kaizo Hayashi  
映画監督

1957年生まれ。京都府出身。1985年に、自ら制作・監督・脚本を手掛けた『夢みるように眠りたい』でデビュー。毎日映画コンクール・スポンジグランプリ新人賞を受賞、海外でもベネチア国際映画祭映画批評週間やニューヨーク映画祭など、10数ヶ国の国際映画祭に正式招待され、ベナルマナ国際映画祭、フィグエイラ・ダ・フォンシュ国際映画祭、ブルーデント国際映画祭ではグランプリを受賞し、一躍世界の脚光を浴びた。他にも『二十世紀少年読本』（兼制作・脚本、1989年）、『ZIPANG』（兼脚本1989年）、日仏米合作によるオニニバス『フィガロ・ストーリー』（兼脚本、1991年）の一編、制作・脚本も手掛けた『我が人生最悪の時』（1993年ベルリン国際映画祭、香港国際映画祭、ロンドン国際映画祭出品）、『運かな時代の階段を』（1994年、シアトル国際映画祭、サンフランシスコ国際映画祭ほか出品）、『嵐』（1996年）の私立探偵マイクシリーズ3本、日本、台湾合作の『海ほおずき』（1996年、ロカルノ映画祭、トロント国際映画祭）、『キャット・アイ』（1997年）、原田健太主演によるオールアメリカロケの『LOST ANGELS』（2000年）などがある。

映画監督作品以外では、アジア6ヶ国合作となる『アジア・ビート』（1991年）シリーズ6連作、『アトランタ・ブギ』（1996年）などのプロデュース、『帝都物語』（1988年）の脚本、『MTV VIDEO MUSIC ASIA大賞』を受賞した台湾の歌手・堂嶋のMTV『自由』（1996年）や香港の人気スター、アンディ・ラウのミュージックビデオの監督、『私立探偵マイク』を題材としたコミックス（集英社『ビジネスジャンプ』1996～1997年、1998年連載再開／井上紀良画）の原作など、幅広い活動を行っている。

**林 淳一郎**  
Junichiro Hayashi  
撮影監督

日本撮影監督協会所属。1993年よりフリーのカメラマンとなり現在に至る。撮影作品は『樟の悲しみ』（1994、監督：神代辰巳）、『リング』（1998、監督：中田秀夫）、『ニンゲン合格』（1999、監督：黒澤清）、『ドリームメーカー』（1999、監督：菅原浩志）、『カリスマCHARISMA』（2000、監督：黒澤清）、『回路』（2001、監督：黒澤清）、『RUSH!』（2001、監督：瀬々敬久、『仄暗い水の底から』（2002、監督：中田秀夫）等ほか多数ある。また映画だけでなく、Vシネマ、テレビ、CFなど多岐に渡って活躍している。主な受賞歴に『嵐が丘』（1988、監督：吉田喜重）で第32回日本映画撮影監督協会三浦賞奨励賞、日本映画テレビ技術協会日本映画技術賞、毎日映画コンクール撮影賞を、『郷愁』（1988、監督：中島丈博）で毎日映画コンクール撮影賞をとっている。

**藤澤 順一**  
Junichi Fujisawa  
撮影監督

1950年千葉県生まれ。千代田写真専門学校を1977年に卒業。1988年に日本映画撮影監督協会に入会。『カボチャ大いに泣く』（1984、監督：鈴木清順）でデビュー。主な撮影作品に『またまたあぶない刑事』（1988、監督：一倉治雄）、『ガンヘッド』（1989、監督：原田真人）、『櫻の園』（1990、監督：中原俊）、『夢二』（1990、監督：鈴木清順）、『居酒屋ゆうれい』（1994、監督：渡邊孝好）、『Lie Lie Lie』（1997、監督：中原俊）、『犬、走るDOG RACE』（1997、監督：崔洋一）、『はつ恋』（1999、監督：篠原哲雄）、『カラフル』（1999、監督：中原俊）、『狗神』（2000、監督：原田真人）、『ココニイルコト』（2001、監督：長澤雅彦）。受賞歴に『月はどっちに出ている』（1993、監督：崔洋一）でよこはま映画祭撮影賞、『天守物語』（1994、監督：坂東玉三郎）で日本映画技術特別賞、『白痴』（1998、監督：手塚真）でポーランドCAMERIMAGE映画祭SILVER FROG賞受賞などがある。

**堀田 泰寛**  
Yasuhiro Hotta  
撮影監督

1939年平塚生まれ。1963年に日映科学映画製作所入社。1969年にフリーのカメラマンとなる。主な作品に35ミリ劇場映画『日本の悪童』（1970、監督：黒木和雄）、『ヒポクラテスたち』（1980、監督：大森一樹）、16ミリ記録映画『光の島』（1995、監督：大重潤一郎）『風の島』（1995、監督：大重潤一郎）、『越後奥三面～山に生かされた日々』（1984、監督：堀田忠義、シカゴ映画祭記録映画部門銀賞）、『センス・オブ・ワンダー～レイチェル・カーソンの贈り物』（2001、監督：小泉修吉）などある。また『S AWADA』（1996、監督：五十嵐匠、キネマ旬報文化映画部門第1位）JSC賞（日本映画撮影監督協会賞）、第50回日本映画技術賞を受賞。日本映画撮影監督協会会員、日本映画テレビ技術協会評議員、東京藝術大学美術学部講師。

**前田 哲**  
Tetsu Maeda  
映画監督

大阪府生まれ。東映大泉撮影所で大道具や美術助手をへて、伊丹十三、阪本順治、滝田洋二郎、周防正行らの監督作品に携わった後、相米慎二総監督のもと、1998年オムニバス映画『ボッキー坂恋物語・かわいひと』のエピソード3で劇場映画デビュー。以降TVドラマ、Vシネマ、CF、ミュージックビデオなど幅広いジャンルで 演出を行う。主な映画作品に『GLOW 僕らはここに…。』（2000年）、『Swing maN』（2000年）。最新作は突然シッポが生えてきた少女のファンタスティック・ラブストーリー、『バコダテ人』（2002年、出演：宮崎あおい、大泉洋、松田一沙）、が四月下旬よりロードショー、以降全国ロードショー公開。

**矢崎 仁司**  
Hitoshi Yazaki  
映画監督

1954年山梨県生まれ。日大芸術学部映画学科で同期の長崎俊一に触発され、8ミリ映画製作を始め、『哀窓』（1975年）『冬の光』（1977年）を発表する。1980年、長崎俊一との共同脚本による初の16ミリ長編『嵐たちの午後』を完成、翌年公開され、16ミリ作品としては異例のヒットとなり、ヨコハマ映画祭自主制作映画賞を受賞。海外でも広く認められ、エジンバラ国際映画祭、モントリオール・ニュー・シネマ・フェスティバルなど多数の国際映画祭に招待される。1991年に『三月のライオン』を発表。1992年矢崎自身が敬愛するテレク・ジャーマンも受賞したベルギー王室主催ルイス・ブニュエルの『黄金時代』賞の受賞を始めとし、ベルリン、バンクーバー、ロンドン、ロッテルダム、香港など数々の海外映画祭に招待上映される。国内でも全国各地で上映され、およそ6ヶ月間で合計18,479人を動員した。その後95年には、文化庁芸術家海外研修員として渡英。ロンドンで研修中に『花を摘む少女と虫を殺す少女』の着想を得て、1999年に完成、2000年11月より公開され、現在も中野武蔵野ホールにて上映が続けられている。次回作として『旅人の木』（原作：辻仁成）と、『100年前』を準備中。

**柳島 克己**  
Katsumi Yanagishima  
撮影監督

『セーラー服と機関銃』（1981年、監督：相米慎二）の撮影助手を務め、『もともともあぶない刑事』（1989年、監督：村上透）、『六本木バナナボーイズ』（1989年、監督：成田裕介）などの撮影をする。また『3-4X10月』（1990年）、『あの夏、いちばん静かな海』（1991年）、『ソナチネ』（1993年）、『みんな～やっつてるか!』（1995年）、『Kids Return』（1996年）、『菊次郎の夏』（1999年）、『BROTHER』（2001年）といった多くの北野武監督作品の撮影をつとめている。その他の主な撮影作品に『生きない』（1998年、監督：清水浩）、『走れ！イチロー』（2001年、監督：大森一樹）などがある。2001年公開、窪塚洋介主演の『GO』（監督：行定勲）では第25回日本アカデミー賞最優秀撮影賞を受賞。

**山川 直人**  
Naoto Yamakawa  
撮影監督

1957年、愛知県新城市生まれ。早稲田大学でシネマ研究会に所属し、自主映画作りをスタートさせる。1978年『ビハインド』がびあフィルムフェスティバルに入選し、同時代の映画作家たちに強い影響を与える。16mm作品『アナザ・サイド』（1980）、『パン屋襲撃』（1982、村上春樹原作、1987メルボルン国際映画祭 ベストフィルム・ベストフィクション賞受賞）、『100%の女の子』（1983）はエジンバラ、ロンドン、ニューヨーク等の国際映画祭で上映され、海外で高い評価を受ける。『ビリー・ザ・キッドの新しい夜明け』（1986）で劇場映画デビュー。1993年にロバート・レッドフォードの主催するサンダンス・インスティテュートのスカラシップに選ばれ渡米、アメリカの映画製作法を学ぶ。その他の主な映画作品に大友克洋原作『SO WHAT』（1988）、『バカヤロー！3・ヘンな奴ら』（1990）、『来たことのある初めての道』（1993）、『時の香り〜リメンバー・ミー〜』（2001）。映画制作の一方でTVドラマ『デジドラ・ワンシーン』（1998）、インターネットドラマ『グラウエンの鳥籠』（1999、企画：秋元康、主演：吉野紗香）、舞台『鏡』（1999、原作：鈴木光司、主演：三田村邦彦）等の演出と精力的に活動している。

**山崎 裕**  
Yutaka Yamazaki  
撮影監督

1940年東京都生まれ。1963年日本大学芸術学部映画学科卒業。以後、フリーの撮影助手としてスタート。長編記録映画『肉筆浮世絵の発見』（1965、監督：中村正義、小川益夫）でフィルムカメラマンとしてデビュー。その後、CM、PR映画、記録映画と同時にテレビドキュメンタリー『カメラルポルターージュ』、『素晴らしい世界旅行』、『ノンフィクションアワー』などのカメラも担当する。1998年、『ワンドフルライフ』（監督：是枝裕和）で初めての劇場用映画の撮影を担当。2000年、カメラマン・田村正毅、猪本雅三、照明・佐藤謙たちとのコラボレーションによる監督のいない映画制作に参加。映画『短篇』の中の『Share』を担当する。主な受賞歴に1981年に雑誌『映画テレビ技術』に執筆した『フィルムカメラマンのビデオ映像との出会い…Uマチックでドラマに トライする』で日本映画テレビ技術協会第11回小倉・佐伯賞、1995年にテレビジョンATP賞'95特別個人賞がある。また、自らが演出を兼任した作品、ネイチャリング・スペシャル『神々の峰アンデス大自然行』でギャラクシー選奨、ネイチャリング・スペシャル『印度漂流』で文化庁芸術作品賞をとっている。

**山本 英夫**  
Hideo Yamamoto  
撮影監督

1960年岐阜県生まれ。横浜映画専門学校（現、日本映画学校）卒業。その後、フリーの撮影助手として、数々の映画、テレビ、CMなどの現場を経て、カメラマンとして一本立ち。現在に至る。主な受賞歴としては、『HANA-BI』（1998、監督：北野武、第54回ベネチア国際映画祭金獅子賞受賞）、『ホワイトアウト』（2000、監督：若松節朗）で日本アカデミー賞優秀撮影賞、『中国の鳥人』（1998、監督：三池崇史）、『HANA-BI』（1998、監督：北野武）で毎日映画コンクール撮影賞等がある。他の主な撮影作品に『岸和田少年愚連隊血煙純情編』（1997、監督：三池崇史）、『岸和田少年愚連隊望郷編』（1998、監督：三池崇史）、『リング2』（1999、監督：中田秀夫）、『サラリーマン金太郎』（1999、監督：三池崇史）、『ビクターQ』（2001、監督：三池崇史）、『殺し屋1』（2001、監督：三池崇史）、『RED SHADOW 赤影』（2001、監督：中野裕之）、『ソウル』（2002、監督：長澤雅彦）などがある。

**渡部 眞**  
Makoto Watanabe  
撮影監督

1953年東京都生まれ。早稲田大学文学部演劇学科学卒業。American Film Institute (A.F.I.) 卒業 (Master of Fine Arts 取得)。主な撮影作品に『の・ようなもの』（1981、監督：森田芳光）、『大失恋』（1995、監督：大森一樹）、『鉄塔武蔵野線』（1997、監督：長尾直樹）『香港大夜總會』（1997、監督：渡邊孝好）、『らせん』（1998、監督：飯田雅治）、『ショムニ』（1998、監督：渡邊孝好）『千年旅人』（2000、監督：辻仁成）、『五条霊戦記』（2000、監督：石井聰互）などがある。『HUG BOX』では監督をつとめる。また、CFの方面でも活躍している。代表撮影作品に『アサヒワнда』（プロアンバイヤー編）、『ホンダ VAMOS』、『キュービーゴールド』等。



NOMINEE  
ノミネート作品

一次審査を通過した17作品は、2回上映され、最終審査員によって審査。受賞作品は、さらに3回上映され、次年度の「JCFスカラシップ制度」対象となる。



**ルームメイト**  
the roommate  
7/4 11:00  
7/4 12:00

監督 アラカワケンスケ  
映子役 木 結里  
和美役 羽深 麻子  
男役 中村 幸義  
脚本・撮影監督・編集 アラカワケンスケ  
撮影助手 菊池 大洋・高橋 輝  
音声 笹渡 奈保子  
照明 佐藤 順泰  
記録助手 安東 舞子  
衣装 木村 芽生・佐々木 里香・土門 タ子  
インテリア 佐々木 里香・土門 タ子・中野 南  
ヘアメイク 土門 タ子  
ケータリング 藤原 未来

ルームメイトの海外旅行先での突然の事故死。遺された映子の元に届く一枚の絵はがき。それは、ルームメイトの和美からのものだった。しかし、消印は事故の次の日だった。部屋に残された和美の荷物を片づける映子。和美の死を受け入れることができない映子はもしかしたら彼女は生きているのではないかと、あるはずもないことを考え始める。和美との日々を思い出しながら、映子は彼女の存在と向き合う。



**春行の恋**  
haru yuki no koi  
7/3 11:00  
7/3 12:00

監督 熊谷 直子  
プロデューサー 平山 茂樹  
助監督 小川 正紀  
撮影 内田 繁緒  
撮影助手 鈴木 健司  
照明 松原 秀行  
照明助手 遠 正明  
記録 細野 寿樹  
DV記録 小林 正樹  
美術 鈴木 健司  
音楽 濱野 由美

ある夏の日、恋人ジュンの部屋を訪れたマキは小脇に土鍋を抱えていた。買い出し先のスーパーでもめ、突然の訪問者ワタナベを交えた楽しいはずの食卓でもまたもめる始末。追いつめられたマキは箸を投げ捨て、部屋を飛び出してしまふ。あわてて追いかけたジュンだったが、マキの姿は見つからない。一方マキは部屋に戻り、ワタナベに仲裁を頼むが失敗。ジュンがあきらめて部屋へ帰った時、鍋バトルはハッピーエンドで幕を閉じる…。



**若葉の頃に～音の時代編～**  
At the dawn of the sound era  
7/3 11:00  
7/4 12:00

監督 脚本 演出 編集 山口 雅和  
主演 吉浦 彰彦  
浅田 百合子  
太田 清伸

主人公吉浦は芸大受験に失敗し、大学生のフリをして芸大に落ち込むと、芸大を卒業しようとしているが道路に悩んでいる浅田と出会う。吉浦は浅田に自分の希望である大学での苦悩を聞かされ、難しい心境に陥る。一方、浅田は自分がおって来たはずの受験の頃の苦しい吉浦の姿をいとおしく思い惹かれていくが、吉浦は浅田の大学での苦悩を実際に目の当たりにし、浅田の元彼氏で今はストーカーと成り果てた太田の出現にますます悩まされる。そんな主人公の日々を描いた短編映画



**マツロモノ**  
MAC ART MAN  
7/3 12:00  
7/4 11:00

監督 上田 達哉  
脚本 木下 弘敏  
田中 利枝  
夏山 政彦

ある妄想に取り憑かれた男。大きな交差点の向こう側で、老父の肩にしがみついている猫の瞳に見惚れていた。その鮮やかな色彩に彩られた球体にわずかな「希望」を感じた。もう片方の瞳を見てそれは一気に逆流した。蒼白く焦点の合わないそれはまるで古くけたガラス玉のようだった。猫は老父の肩から飛び降りて来てその瞳をくれた。僕はそれを握りしめてゆっくりに交差点を渡りはじめた。



**わかめつぼ**  
the wakamekubo  
7/4 12:00  
7/4 11:00

監督 小松 孝  
脚本 小松 孝

ある日、西村加津夫は道端で何かを踏んで、転んでしまう。その何かを見ると、「……わかめ？」  
翌日、加津夫の部屋に置いておいたつぼの中に、なぜかわかめが入っていた。なぜだ？  
一方、加津夫は、中学の時に同級生だった女性と再会し、恋をする。が、なぜか加津夫は必要以上に嫌われる。なぜだ？  
二つの謎が、加津夫の日常の斜め上の方で交錯する。



**myth**  
7/4 12:00  
7/4 11:00

プロデューサー 永井 正人・齋藤 悠介  
監督 永井 正人  
脚本 岡田 恵典・永井 正人  
音楽 齋藤 悠介・白倉 新之助  
美術監督 吉本 祐司  
編集 永井 正人・矢口 陽介  
キャスト 永井 正人・上田 裕代

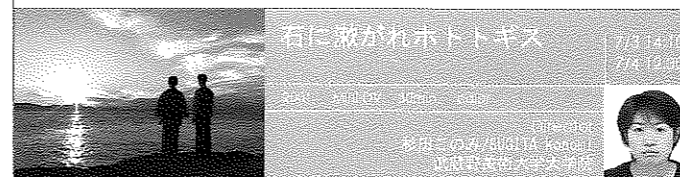
古事記・日本書紀といった様々な神話に記されている、霊と穀物の種の起源を語った12文字の一説をベースにしており、また、種々の日本の古代神話・説話の型を踏襲しつつ、独自のアレンジを加えた作品。  
うだつあがらないマコトは、現実から逃避するかのようにウォークマンを手放さない。  
ある雨の日、公園の前を通ると、そこには「彼女」が居た。



**キャピアガール**  
Cyber Girl  
7/3 12:00  
7/4 11:00

監督&ストーリー&キャラクターデザイン・造型 中山 瑠璃  
編集&撮影補 多田 卓也  
音楽 miburo  
声 本木 教子

自作の人形と絵で綴るビジュアル・アニメーション。  
「黒い雲が空を覆う、ある憂鬱な雨の日のことでした。ロシアの寂れた海辺町にひとりの女の子が生まれました。ところが、彼女の肌は一面中、キャピアのようなツツツで覆われていたのです・・・」  
暗い暗い海の底で繰り広げられる、キャピアガールとイクラボーイの悲しく切ない愛の物語。



**石に濡がれホトトギス**  
7/3 14:10  
7/4 12:00

監督 杉田 このみ  
脚本 杉田 このみ  
記録・照明 玉野 祐子・佐藤 和文

帝国大学で友好を深めた、正岡子規(24歳)と夏目漱石(24歳)の松山を舞台にした友達のドラマ。明治24年、夏休みに帰省している正岡の手紙に呼び出された夏目は彼の故郷の松山に訪れる。22歳のとき暗血した正岡は、自分の余命が短くもないことを知った。それでも文学で名を残そうと小説「月の都」に着手していた。一方夏目は英文科きっての秀才で、つねに首席。特待生に選ばれた。しかし彼自身は、人生の目的がわからず、苦悩の渦の中をさまよっていた。励まし合いながら、時にはぶつかり合いながら、正岡の母、妹の律に支えられて、「自分にしかできないこと」を探る正岡と夏目。正岡はそうして命を削る思いで完成させた「月の都」を人気作家幸田露伴に送る。その返事は「早く小説はあきらめた方がいい」という、酷なものだった。



**MIZUSHIMA UNDER TOWN**  
MIZUSHIMA UNDER TOWN  
7/3 14:10  
7/4 12:00

監督 滑川 将人  
音響(録) 西島 誠基  
編集 正成 和義  
美術 仲井 綱江  
助監督 廣光 諒司  
監督 トヨタ ヒロミチ  
音楽 FCB\*\*

貧しいながらも兄弟二人、力を合わせ健気に生計を立てるアキラとチャンコ。そんなある日、アキラの勤める工場が倒産してしまう。途方にくれる兄弟の前に現れたのは、二人の借金取りだった。チャンコに淡い恋心を抱き二人の借金返済に協力するサメシマ。サメシマのやり方を嫌う、冷徹非道な男カトウ。4人の人間を中心に物語りは喜劇から悲劇へと変貌を遂げる、No Futureをテーマにしたような世界をご覧ください。



**ひとりの男とひとりの女の話**  
Hitori no Otoko to Hitori no Onna no Hanashi  
7/4 14:10  
7/4 12:00

今津 芳美  
進藤 久宇  
兼坂 崇  
小林 淳  
大塚 秀男  
富野 将男  
観瀬 春樹

「作品を見終わった後に、何かに残るものをつくる」をコンセプトに、男と女の恋愛観を描いたショートムービー。



**ゴールドフィッシュ**  
GOLD FISH  
7/3 14:50  
7/4 12:00

監督 奥谷 幸巨  
脚本 奥谷 幸巨  
カメラ 丸永 英男  
照明 目黒 篤  
音声 小林 勇樹

彼に求められているものは安息だと知りながらも、彼女は盲目の愛を与えたいと思っていました。しかし、彼女はそうする事が二人の関係を壊してしまうのではないかとこの事にも気づいていました。そんな彼女のジレンマが、時に、彼には理解できない行動を起こさせてしまうのでした。そうする事で彼に気にかけてもらう事が彼女の喜びでした。そんな二人の日常を「待つ」という視点から切り取ったのが、今回の作品です。



**はながないたらバリエがくる**  
7/3 14:50  
7/4 14:10  
2011 14min 30sec color  
Director: 鈴木 余位  
京大文学部文学専攻3年

未熟児で生まれたことが原因で左足がうまく動かない少年、スガマ。火傷の痕が腕に残る少女、京(けい)。二人の過去をまるで分厚いお伽敷の本を読むように語りあげていく姿のない、消防士の声。消防士の声は草いきれがたつような真夏の山の中に響き、彼等の身体に刻まれた言葉を呼び醒ますように二人を導いていく。その声はスガマと京が終わらせるべきものと、これから迎えるべきものを教えていた。各々の歴史に気負いを抱きながら二人は目の前のものをしっかりと見据え、スガマは自分の足で走り出し、京は子供の頃は怖くて押さなかったボタンを、今押す。

監督 鈴木 余位  
脚本 鈴木 余位  
助監督 津村 暁子  
撮影・録音・美術 三浦 麻衣香  
鈴木 余位

**ざくろの夢**  
Dream of Pomegranate  
7/3 14:50  
7/4 14:10  
2011 14min 30sec color  
Director: 斎藤 徳映  
京大文学部文学専攻3年

消えてしまった牛乳屋を捜すため学校を飛び出した少女ルル。お腹の中には彼の赤ちゃんが。  
思い出の母親を捜す少年カイとの出会い。  
二人が訪ねた「捜し人事務所」にはなくした夢にすがりつく客ばかり。  
幻と現実が交錯した世界で、ルルの恋人探しはじまる・・・。

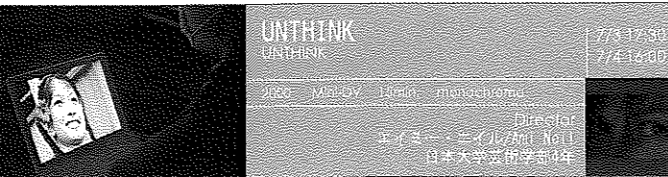
撮影 斎藤 徳映  
録音 竹村 賢治  
音楽 星野 朋昭



**プレゼント**  
Present  
7/3 14:50  
7/4 14:10  
2011 10min color  
Director: 中上川 康二  
慶應義塾大学総合政策学部3年

好きとか嫌いとかあの子とか、いろいろ揉めているうちにあたしのクリスマスは一人ぼっち。それでも友達はやってきて、食べて歌ってどんちゃんどんちゃん。  
一方こちらはサンタさん。サンタのオネエサンはお喋り中。  
ねえねえ、この子たち楽しそう！嬉しそう！プレゼントあげよう大盛り振る舞いしちゃおう。空から降ってくるプレゼント！女の子たちの馬鹿騒ぎにプレゼント！  
いつしかお空にお月さん みんなぐっすり夢の中 吹き消したら夜の空。

監督・編集・撮影・制作 中上川 康二  
制作・演出 小林 悠  
スタッフ 畑山 裕貴・栗松 実穂・石橋 由子



**UNTHINK**  
7/3 14:50  
7/4 14:10  
2011 14min 30sec color  
Director: エイミー・ニール/Neil Ng  
早稲田大学文学部3年

そう遠くない未来、カントリーガールのエリサは、就職のため都会に出てくる。何もかもが新鮮でエリサはそれを満喫しているが、既にex-コミュニケーションター達は行動を開始していた。都市という特異な空間を舞台に、またそれが内包するものを提示し、新旧・和洋折衷の感覚・技術を織り交ぜ、映像として紡ぎだした作品。

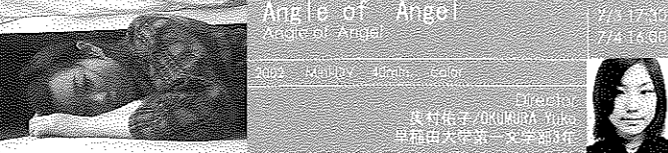
プロデューサー エイミー・ニール 永井 正人  
監督 エイミー・ニール  
脚本 エイミー・ニール  
音楽 マーティ・リーガン  
撮影監督 戸川 恒平  
編集 永井 正人 矢口 陽介



**床下水面下**  
Water Under my room  
7/3 17:30  
7/4 14:00  
2011 14min 30sec color  
Director: 映像集団 志比

夏も終わる頃、主人公洋子は出版社をクビになり、安いボロアパートへ引っ越してくる。片付けも終わり寝転んだ途端、彼女は水中へ落ちてしまう。そこは床下が水中につながっている不思議な部屋だった・・・。

小林 洋子  
田村 麻衣子  
丹野 未希  
斎藤 ゆふき



**Angle of Angel**  
7/3 17:30  
7/4 14:00  
2011 14min 30sec color  
Director: 奥村 佑子  
早稲田大学第一文学部3年

赤ん坊の時に捨てられ、施設で育った未来。  
友人や恋人に囲まれながらも心の中ではいつも一人。  
未来は戸惑いながらも、恋人と結婚し家族を持つことを夢見るようになるが・・・。  
あの音は何？  
「君は愛を知らない。だから、私のこと愛してるなんて絶対に言わないでね。」

脚本・監督 奥村 佑子  
助監督 下川 礼  
撮影 奥村 佑子  
下川 礼  
編集 奥村 佑子  
美術 下川 礼  
記録 小泉 麻衣子  
制作補助 山岡 元輝  
小林 聖

全応募作品 (109 作品)

作品名、応募者名、学校名

10MINITS

HB, 臼井英之, 武蔵野美術大学/タイヤカン, 犬伏拓実, 文星芸術大学/恐怖回帰, 柴田智宏, デジタルハリウッド/グッドジャパニーズ, 長畑仙太郎, 日本エンターテインメントビジネス専門学校/注文の多い料理店, 永田ナラミ, 成安造形短期大学/光輪舞踊, 藤井良雄, 東京造形大学/夜長の夜の夢, 田中博之, 専門学校名古屋ビジュアルアーツ/自傷者, 深瀬沙哉, 東京造形大学/台床, 山田晋平, 武蔵野美術大学/土色大気圏, 與話哲士, 東京映像芸術学院/スキップで行きましょう, 山口知子, ニューシネマワークショップ/UNTHINK, エイミー・ニール, 日本大学/piece, 前畑安希, 東京造形大学/BANIDTS, 鶴岡幸治, パンタン芸術学院/真夜中のラブレター, 葛西勇也, 京都外国語大学/もしもBOX, 尾崎崎, 山口大学/my favorite, 川島高, 慶應義塾大学/表情, 両角貴彦, ENBUゼミ/きれいな感情, 川村健一, 城西大学/海のあたりに, 桑原広延, 東京映像芸術学院/あかし, 吉田俊夫/ゴールドフィッシュ, 奥谷幸巨, 都留文科大学/夜明けのピストル, 田中広一, 東放学園専門学校/ひとりの男とひとりの女の話, 今津芳実, 大阪芸術大学/水, 串間夏海, 九州国際大学/MEIDO, 小松孝, 早稲田大学/アストロノートより愛をこめて, 小泉マリコ, 早稲田大学/こい2, 遠藤尚太郎, 明治大学/蛇口をはずしに, 幕内敦子, 東洋大学/シンパンズ, 前田恵子, 東洋大学/こい, 遠藤尚太郎, 明治大学/キャビアガール, 中山珊瑚, 上智大学/ざわざわ下落合, 村田仁志, 一橋大学/Styles of stay-ii, 小林正芳, 法政大学/戯, 小野寺智子, 玉川大学/ウツロモノ, 夏山政彦, 京都造形芸術大学/丘の上のやくそく, 倉圭宏, 宝塚造形芸術大学/零月(ぜろがつ), 間瀬英一郎, 一橋大学/無題, 田口佳林, 名古屋造形芸術大学/死後の世界, 野村東可, 多摩美術大学/ヌマツレ, 川合良直, 早稲田大学/じゃがいも, 小林春美, 東放学園専門学校/竹輪の恩返し, 赤木崇徳, 京都精華大学/悲し狩り, 三木康平, 関西学院大学/film A, 三木康平, 関西学院大学/billiard 4, 中上川康二, 慶應義塾大学/プレゼント, 中上川康二, 慶應義塾大学/ギャラクティカマグナム, 藤澤浩和, 関西学院大学

30MINITS

縁(ふち), 田中美知太郎, 慶應義塾大学/aosan, 高柳元気/「僕のまわりで起きたこと」~ビデオカメラには何が映ったか~, 武笠路弘, 日本大学/恋文, 伊豆真由美, 早稲田大学/common life, 永井正人, 慶應義塾大学/a myth, 永井正人, 慶應義塾大学/あいなし, 阿部カホル, 映画美術学校/その男が俺に与える不安, 鶴岡幸治, パンタン芸術学院/Jungle Jim, 森山和正, 専門学校九州ビジュアルアーツ/3-B, 棚木秀幸, 東北芸術工科大学(卒業)/たね, 竹林亮, 神奈川県立外語短期大学付属高等学校/夏色の詩(なついろのし), 岩城隆一, 日本大学/夏金魚, 岩城隆一, 日本大学/ダンボール, 棚木秀幸, 東北芸術工科大学(卒業)/穀(から), 伊藤順一, 早稲田大学/カプリシオ, 野町太陽, 東京映像芸術学院/俺すファイナルレブン, 菊池香余, ケンブリッジスクール/床下水面下, 映像集団 池, 武蔵野美術大学/正(ご), 内川佳子, 多摩美術学校/私小説, 澤島真帆, 東京工芸大学/若葉の頃に~青の時代編~, 山口雅和, 大阪芸術大学/友の夢, 山口雅和, 大阪芸術大学/アリとキリギリス, 浅田国弘, 和歌山大学/ナガミツ, 名古屋校, 神戸芸術工科大学/ざくろの夢, 木村明子, 日本大学/所沢大地震, 両角貴彦, ENBUゼミ/魚, 木下雄介, 早稲田大学/EGOIST, 小林由和, 京都学園大学/FUMIO, 長谷川大輔, 愛知工業大学/Classic Boys, 佐藤広一/リアルマザファッカーズ2, 山根啓介, 神戸芸術工科大学/1億2000万のゴミ, 佐々木耕, 東京ビジュアルアーツ/石に激がれホトトギス, 杉田このみ, 武蔵野美術大学大学院/泡(あぶく), 比志島温, 多摩美術学校/わかめつぼ, 小松孝, 早稲田大学/angle of angel, 奥村佑子, 早稲田大学/ソフィア, 吉岡朝日, 京都大学/miss garnet, 小松孝, 早稲田大学/落日の王国, 原田拓郎, 京都大学/ワカバの頃, 村川佑太, 岡山理科大学/命の音, 大野敏嗣, 明治大学/奉行の恋, 平山茂樹, 法政大学/証明写真真奇譚, 川端匠志, 那覇情報システム専門学校/Money, 木寺勝利, 日本写真映像専門学校/檸檬, 江藤直樹, 北海道大学/MIZUSHIMA INVADER TOWN, 廣光詠司, 倉敷芸術科学学校/ふきあげほころび, 石川守哉, 東京大学/春, VIDEOTAPE, 宮武孝至, 大阪芸術大学/はながないたらバリエがくる, 鈴木余位, 多摩美術学校/ルームメイト, アラカワケンスケ, 岩手県立大学/さくらんぼ, 野村東可, 多摩美術学校/アコークロー, 野村東可, 多摩美術学校/ヒツジ, 小林勇樹, 都留文科大学/妄烈大陸, 三木康平, 関西学院大学/夏の駅, 野村雅夫, 大阪外語大学大学院/day tripper, 中上川康二, 慶應義塾大学/boogie back, 中條 尚宏, 明星大学/北東京エレベーター, 片桐絵梨子, 早稲田大学/「長月」, 宮城敬/「CALL」, 宮平貴子/天使の降る空, 宇城秀紀, 日本映画学校/フレンズ~僕。得たる大切なもの~, 館山英雄, 江戸川大学



# 364DAYS

不登校一人の群れ合いの中で考える

## JCF SCHOLARSHIP

JCFスカラシップ制作作品

優秀な学生映画監督を資金・技術・設備の面でバックアップし、プロのスタッフと共に映画を製作する機会を与える「JCFスカラシップ制度」が2001年に開設、第3回JCF学生映画祭グランプリの仲井陽、第3位の渡辺崇の両名が本制度の第1期生となった。2人はプロと共に映画を作ることを通じ、学生だけの映画制作ではなれない経験を得た。

Starting with 2001 when the 3rd JCF Students Film Festival was held, the JCF Scholarship system was inaugurated with a view to helping the best student director(s) in finance, technology and facility to make films in cooperation with professional staffs. The first Grand Prix winner was Mr. Yoh Nakai and the third place was Mr. Takashi Watanabe. They had invaluable chances of making films with professionals, unavailable to ordinary students.



# 01 | 364DAYS

2002 DVCPRO HD 22min. color



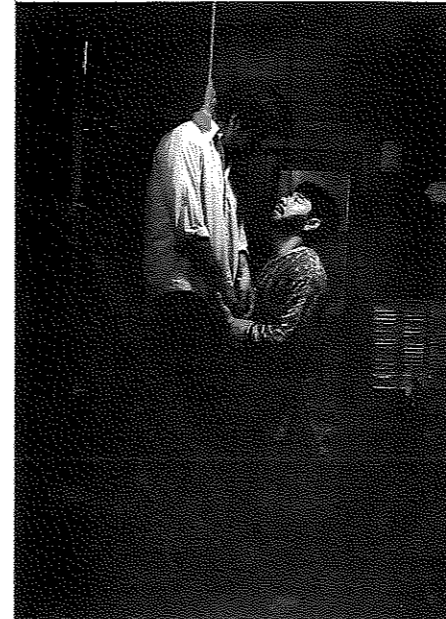
パレット市民劇場 7/4 19:30  
りうぼうホール 7/6 13:00 18:00 7/7 11:00



### STORY

クリスマスイブの夜、他人の家に忍び込んでこっそりプレゼントを置いていく男がいる。こそ泥のような彼は、毎年、古くなったおもちゃを回収しては、新しいおもちゃに作り直して子供達に配っているのだ。ある年のクリスマスイブ。男は、いつものように忍び込んだ家で、いつもとは少し違う出来事に遭遇する。  
南国で暮らす、サンタクロースの日々と秘密にまつわる物語。

On Christmas Eve every year, an unidentified person sneaks into others' houses and gets out leaving some presents. All the presents are old toys he collected and repaired anew. One Christmas Eve he steals into a house as usual and witnesses a scene there quite different from what he has ever seen. The story deals with his mysterious life in a southern country.



### PRODUCER

高 秀蘭 / SHIRLEY KAO

台湾テレビの定評あるプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年有限会社ニューウェイブを設立。以降、中国語圏の優れた監督作品の製作、配給を行う。台湾の侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督の『悲情都市』(1988年)、『戲夢人生』(1991年)のプロデュースをはじめ、中国の張芸謀(チャン・イーモウ)監督の『紅夢』(1991年)『活着』『上海ルージュ』(1995年)などのポストプロダクション、陳凱歌(チェン・カイコー)監督の『さらば、わが愛/覇王別姫』(1993年)『花の影』(1996年)『始皇帝暗殺』(1998年)のプロデュースなど、多数の作品を手がける。

### PRODUCER

花田 良知  
YOSHITOMO HANADA

1981年、24才の時、最年少プロデューサーとして鈴木清順監督作品『陽炎座(かげろうざ)』を日本ヘラルド映画と共同製作、共同配給。製作会社が配給会社と共同製作・配給を行う初の形態。1999年よりアメリカンオキナワショートショートフィルムフェスティバルのゼネラルのプロデューサーを担当。

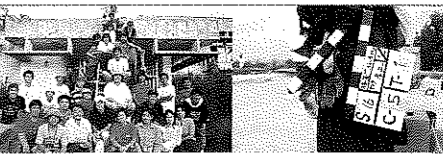
- 『陽炎座』日本アカデミー賞3部門受賞。ロンドン国際映画祭招待作品。アボリアッツ国際映画祭招待作品
- 『ストレンジ・ラブ』カナダ国際ビデオカルチャー・フェスティバル特別賞(演出)
- 『ノンスタンダード』カンヌ国際CMフェスティバル銀賞(演出)

### DIRECTOR

仲井 陽 / MINAMI NAKAI

1979年石川県生まれ。早稲田大学社会科学部4年。学生団体「ケシュハモニウム」を発足させ、映画、演劇などの制作活動を展開中。2000年度早稲田映画まつりグランプリ・脚本賞・演技賞を受賞。第3回JCF学生映画祭で自主制作映画『鶴譚(めえたん)』がグランプリを獲得し、2002年の「JCFスカラシップ作品」として、オキナワコンテンツラボにて短編映画『364days』を製作。またこの実績によって2001年度の「早稲田文化賞」を受賞。

In collaboration with OKINAWA Contents Labo, which aims at finding out talented youths and puts into practice financing, providing facilities, distributing of films, payment of dividends, etc., with OKINAWA as a key base, the first winner of JCF Scholarship Mr. Nakai produced his first film titled "365 Days" in collaboration with professional staffs and actors. The director Nakai had invaluable experiences not only as a director but as an assistant, too.



### STAFF

- |                |              |
|----------------|--------------|
| プロデューサー        | 高 秀蘭         |
| プロデューサー        | 花田 良知        |
| エグゼクティブプロデューサー | 玉城 淳博        |
| エグゼクティブプロデューサー | 太田 雅人        |
| 監督             | 仲井 陽         |
| 脚本             | 花田 良知        |
| 原作             | Hoa Tien Bon |
| スクリプト          | 富平 貴子        |
| 制作             | 鳥越 一枝        |
| 制作             | 伊波 国治        |
| 制作進行           | 鳥越 博文        |
| 撮影             | 川 哲也         |
| 撮影チーフ          | 新田 昭仁        |
| V E 音声         | 小野 寛明        |
| アシスタント         | 持田 慶泰        |
| 照明部・技術         | 平良 睦博        |
| 照明チーフ          | 新城 匡喜        |
| 照明助手           | 兼城 明盛        |
| 美術監督           | 井出 裕一        |
| 大道具            | セットアップ       |
| 美術アシスタント       | 鶴見 真琴        |
| 美術アシスタント       | 真茶 里香        |
| 美術アシスタント       | 石添 登志        |
| 美術アシスタント       | 仲村 裕         |
| カレンダー作成        | 玉柴 昭彦        |
| HM・ST          | 荒井 祐子        |
| アシスタント         | 豊永 恵梨子       |
| 美術             | 山田 かつら       |
| スチール           | 池田 敬         |
| 編集             | 比嘉           |
| 編集アシスタント       | 大城 佐久間       |
| 編集アシスタント       | 藤久間          |
| 出演             | 藤木 勇人        |
| 出演             | 上原 新翔        |
| 出演             | 喜屋武 厚子       |
| 出演             | 川上 可琳        |
| 出演             | 神田 貴彦        |
| 出演             | 武富 良央        |



## 02 | 不登校—一人の群れ合いの中で考える

2002 MiniDV 55min. color

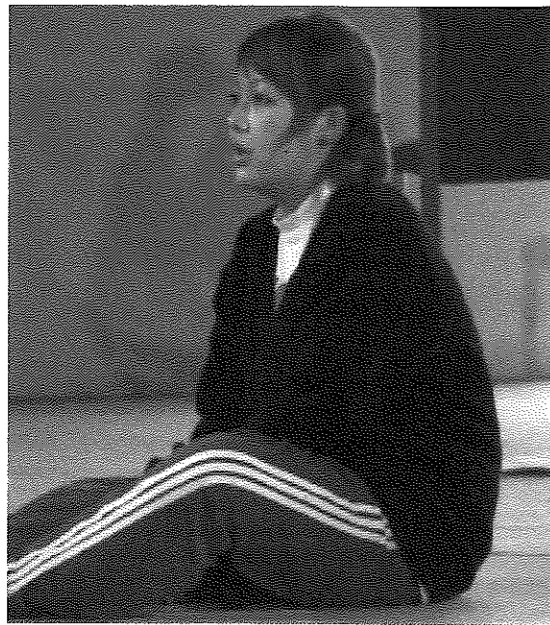
りうぼうホール 7/5 11:00 7/6 11:00 7/7 13:00

第3回JCF学生映画祭第3位受賞監督の渡辺崇は、第1回JCFスカラシップ制度による映画制作をおこなった。このプログラムがなければ、彼がドキュメンタリーの制作をすることはなかったかもしれない。

なぜ、ドキュメンタリーなのか？フィクションがつかれないからドキュメンタリーに逃げたのか？この問いに対して、プロデューサーの原氏はこう答えた。

「とかく若い監督は現実社会を無視して都合よく人を描くために、絵空事の劇映画を作ることが少なくありません。渡辺君が今後、劇映画というフィクションの世界で生き続けていくためには、現実を生きる人間が渡辺君の都合のいいようにはいかに動かぬか、ということをもっと知ることが重要だと思ったからです」

Mr. Watanabe, the third place of the JCF Scholarship contest, produced a documentary on this system in corroboration with the Grand Prix winner Mr. Nakai. Why documentary? Did he shrink back from making a film? Producer Hara says—"The young are apt to present their themes, not as they are, but as they want them to be, so their films are often become illusionary. As long as Mr. Watanabe wants to be a fiction producer, he must face the realities as they are and know that they can't be changed as he likes them to be. That's why I suggested that he should make a documentary."



### STORY

劇『チェンジ』の主人公は不登校の少女。そして、この主人公を見事に演じきった長住亜美さんも実生活で「不登校の体験者」である。今回のドキュメンタリー『不登校』では、長住さんの不登校体験を軸に、彼女を取り巻く家族や友人をヨコ軸に、メインテーマである「不登校—親子」に迫っている。渡辺は、劇づくりのプロセスを撮影するために、京都の月極マンションを3ヶ月間賃貸し粘り強い撮影取材を敢行し、両親の故郷・鳥取にまでロケの足を伸ばした。作品を仕上げるまでにプロデューサーたちと長時間にわたるディスカッションを重ね、監督の渡辺自身も「学校—親子」について深く考え方を振り返ることとなった。これまで劇映画づくりにのみ頭がいていたが、実存する「被写体」は渡辺の頭の中で都合よく動くはずもなく、「現実を写し撮る」ことの難しさを痛感した。この体験が今後の劇映画づくりに役立つはずである。

Heroine of the "Changes" is a girl who refuses to go to school, and Ami Nagazumi who played the part of the heroine was one of those who refused to attend school, too. In his new documentary "Refusal to Attend School", with Ami's experiments as vertical lines and her family and friends as horizontal lines, Watanabe tries to approach the theme "Refusal—Parent and child" relationship. In order to take the pictures of processing the drama's construction, the staffs rented a large apartment house in Kyoto for three months, tenaciously continued photographing and deta—gathering, and went as far as Tottori, Watanabe's parents' hometown to shoot location scenes. Repeated discussions with the staffs made the director think back to his past days and examine his own "School—Parent and Child" relationship. Apart from eagerness to make a drama film, he keenly realized the difficulty of photographing realities "as they are." This experience will be sure to become an indispensable factor for his drama film making.

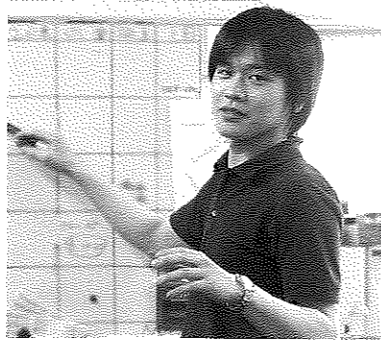
PRODUCER  
原 孝  
TAKASHI HARA



慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、新聞記者を経てフリーライターとして活動。その後、プレジデント社に入社。現在、同社企画出版部長。1998年「年間ベストセラー」（トーハン発表）に同氏が企画・刊行した単行本が2冊同時にベストテンにランクインする。同一編集者が「2冊ランクイン」させたのは戦後初めて。1999年より「大学の授業を考える会」を主宰し、全国の大学生と「熱い交流」を続けている。また、通信教育課程の社会人学生と通学課程の若い学生とが共演した、不登校少女が主人公となる劇『チェンジ』を昨秋上演し、話題になる。この劇の主人公を演じた長住亜美さんのドキュメンタリーを今回、渡辺君のJCFスカラシップ作品としてプロデュースした。これまでの映像作品として、日本画壇の巨匠・平山郁夫や文化勲章受賞作家・遠藤周作などのドキュメンタリービデオをプロデュースしている。現在、早稲田大学講師として『自己表現論』を担当している。

DIRECTOR  
渡辺 崇 / TAKASHI WATABABE

1979年宮城県産まれ。早稲田大学教育学部卒業。卒論に寺山修司を選ぶ。2001年「パラグラフ」が東京学生映画祭グランプリを受賞。2001年「帰ってきたあいつ」が第3回JCF学生映画祭第3位受賞。2001年3月に大学を卒業するも、就職もせず、消費に甘んじながら(?)、このドキュメンタリーづくりに全てを注いだ。このドキュメンタリーを通して「不登校」「親子」についての論議が巻き起こることを願っている。



STAFF  
プロデューサー 原 孝  
太田雅人  
撮影・監督 渡辺 崇  
助監督 石川岡一  
音楽 佐野宏晃  
協力 池崎健佳  
大塚靖雄

14日 (Sat) 23時  
**短編コメディ A**  
ショートならではの  
シュールな笑い満載

**La Flamme**  
「セルロイド・ロマンス」  
2000年・フランス

15日 (Mon) 23時  
**短編コメディ B**  
アイデア勝負の  
短編コメディ!

**The Bystander From Hell**  
「バイスタンダー・フロム・ヘル」  
2000年・アメリカ

16日 (Tue) 23時  
**短編アニメーション A**  
秀作ショートアニメが結集

**Father and Daughter**  
「岸辺にて」  
2000年・オランダ

17日 (Wed) 23時  
**短編アニメーション B**  
クリエイティブを中心に  
お届けします

**Mouse Without a Tail**  
「シッポのないマウス」  
2000年・韓国

18日 (Thu) 23時  
**短編ファンタジー**  
ベッドタイムストーリーに  
短編ファンタジー

**Lightwell**  
「ほの暗い夜の出来事」  
2000年・ギリシャ

Cinefil  
Imagica  
260CH  
2002年 7月 14~25日  
**ショートフィルム・  
スペシャル  
12夜連続放送!**

すっかりお馴染みになった  
シネフィル・イマジカのショートフィルム。  
さまざまなゾーンに分けられた、短編スペシャルを  
12夜に渡り放送いたします。  
最終夜は、視聴者からの  
リクエスト上位作品が発表されます。  
更に26日11:00より全ブロック12時間まとめて大公開!

20日 (Sat) 23時  
**短編サスペンス**  
ショートの醍醐味、  
ラストのどんでん返し!

**Hide and Seek**  
「隠れんぼ」  
2001年・韓国

19日 (Fri) 23時  
**短編ロマンス**  
色々な恋の物語を  
ショートフィルムで

**Teou**  
「パリの恋人」  
2001年・フランス

21日 (Sun) 23時  
**短編キッズ**  
子供達と一緒にショート  
フィルムを楽しんで下さい。

**Midas**  
「ミダス王と黄金の手」  
1999年・アメリカ

22日 (Mon) 23時  
**短編ドラマ**  
短くても見応え充分、  
ドラマチック・ショート

**Some Folks Call It A Sling Blade**  
「スリングブレイド<短編版>」  
1996年・アメリカ

23日 (Tue) 23時  
**短編ミュージック**  
音楽と映像の  
コラボレーション

**My Chorus**  
「僕のコーラス隊」  
2000年・フランス

24日 (Wed) 23時  
**短編ドキュメンタリー**  
広がるショート・  
ドキュメンタリーの世界

**Comme Un Seul Homme**  
「ピフォア・ザ・ゲーム」  
2001年・フランス

25日 (Thu) 23時  
**リクエスト上位作品**  
皆さんが選ぶ  
リクエスト短編集です

シネフィル・イマジカのホームページに  
寄せられた視聴者からのリクエスト集計の  
上位作品をお届けします。リクエストは、  
<http://cinefil-imagica.com/>  
にて受け付けます。(6/未定まで)

SKY PerfectTV! 260CH 月額¥300 シネフィル・イマジカは  
右記のセットでも  
ご視聴いただけます。 SKY PerfectTV! ホームページ  
映画セレクト  
お申し込みお問い合わせは、  
SKY PerfectTV!  
カスタマーセンターへ  
0570-039-888  
※携帯電話、PHSや交換機の設定によってはご利用いただけない場合がございます

# JCF ASIA MOVIE FORUM

## JCFアジア映画フォーラム

アジア各国の映画事情と若者の育成について、国際的に活躍する著名な監督を招いてのトークセッション  
Talk session on various themes such as real circumstances of Asian film worlds and how to foster younger generations, inviting active international directors.

7/5 18:00~20:30 りうぼうホール

### 紹介と挨拶

Introduction and presentation of participants

#### PART 1

### 芸術と商業

Art versus commerce

・映画制作における両者の理想的な提携：理想を追求しつつ、なおかつ営業的にも成功をおさめるには、マーケット(配給業者)の要求との対立の中での自己主張と芸術的表現の重要性について。  
・将来の映画制作者の組織作り：アジア諸国における可能性の違い(映画学校、セット作りの体験者の確保、公共施設、等々の問題)  
・映画祭の重要性はどの程度か？ 現実の映画界と映画祭の結びつきについて。  
[質疑応答] 一般の聴衆が映画祭参加者から学び、自分が目指しているもの、希望、対象としているものなどについて討議する。

The ideal combination of making one's own movie: based on one's own ideals and still having commercial success. The importance of one's own idea and artistic statement in conflict with the requirements of the market (distributors).  
Forming future filmmakers: different possibilities in Asian countries (film schools, ease of gathering experience by working on sets, public institutions, etc.).  
How important are film festivals? Are they almost a world apart from the actual film market?  
Question and answers

#### PART 2

### 自分の映画をいかにして制作し実現するか

How to produce and realize one's movie

・資金源の問題：参加者それぞれの国における条件と事情の違い。  
・公共の財源(公債・国債)、ベンチャー企業の資金、個人の資金、プリセール(特定の顧客への特別販売)の問題：自己資金の持ち出しを避けるには？ 資金の提供を受けるにはどこまで妥協しなければならないのか？  
[質疑応答] 以上の問題について一般の聴衆が映画祭参加者と討議する。

The importance of financing sources; difference of conditions and situations in the countries of the participants.  
Public & government funds, venture capital, private productions funds, presales; how to avoid using one's own money; what compromises have to be made to get financing.  
Questions and answers

#### PART 3

### メッセージ

MESSAGE

日本の公共団体および沖縄県へ向けての、映画制作者からのメッセージ。

Short message of the filmmakers asking for more cooperation from Japanese public entities and the Okinawa Prefecture

### CORDINATOR



ルーカス  
Lukas Schwarzachner  
映画プロデューサー  
オーストリア

1956年オーストリア、ウィーン生まれ。ウィーン大学で中国語や中国の文化歴史を学び、その後初の奨学生としてアジアを訪問。中国の文化歴史に關しての修士課程を終える前までアジアを広く回った。1981年から1991年の間東京を拠点にドイツ通信各社の極東特派員として働く。その間ドイツ語でアジアについての多数の書籍を出版。1991年に香港に移った後、ヨーロッパとアジアの映画共同製作プロジェクトを手がける製作会社を設立し『ホテル上海』等の製作にたずさわった。また、製作コンサルタントとして自身のKIR FILMというレーベルを東京で立ち上げアジアで異なるタイプの7つの映画プロジェクトを展開している。1996年からはドイツ映画プロデューサー協会とドイツ映画協会アジア支局の代表を務め、2001年からはアメリカ最大のカエンタテインメント雑誌『バラエティ』の日本特派員としても活動している。

Born in Vienna in 1956, majored in Chinese language and Chinese cultural history in Vienna University, he visited Asia as the first scholarship student, traveled around Asia until before finishing the Masters course. From 1981 to 91, he worked for several German news agencies as a Far East correspondent, and wrote a variety of German books concerning Asia. In 1991 he moved to Hong Kong and set up a production company for making joint projects between Europe and Asia. He now works in Tokyo as a consultant for producing films with the label "KIR FILM" and is developing 7 type-film projects in Asia. He has been a representative of German Film Producing Association and the Asian branch of German Film Association since 1996 and also, since 2001, he has been a special correspondent in Japan for the America's biggest entertainment magazine "VARIETY".

### GUEST

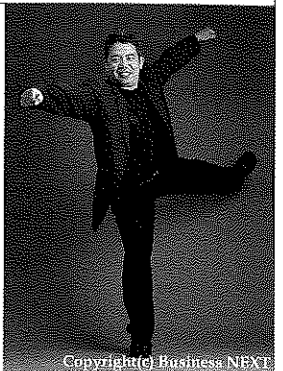
#### 張 榮貴

Micho Chang

プロデューサー  
台湾

1957年生まれ。台湾にてTVプロデューサー、ケーブルテレビ局(スターTV)の製作局長を務める。また、MTVのディレクターとしても有名。台湾の大ヒットアニメ『阿貴(アークエ)』の生みの親で、制作プロデューサー。台湾短編映画祭でグランプリを2度も受賞した経歴をもつ。

Born in 1957, a TV producer, and the head of the production department of a cable TV. He is also famous as a MTV director and he was twice awarded the Grand Prix at the Taiwan Short Film Festival, International Film Festival. In 1996 his film "Mountains of Marks" was selected as No. 1 of the best film arts.



Copyright(c) Business NEXT

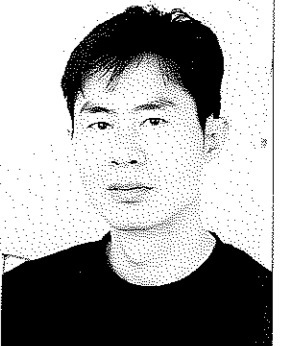
#### 章 明

Zhang Ming

映画監督  
中国

1962年生まれ。北京映画学校監督科 卒業。95年から96年にかけて製作した監督デビュー作『沈む街』が観客・批評家からの圧倒的支持を受け、第1回プサン国際映画祭New Currents賞、第14回トリノ国際映画祭City of Torino賞などを受賞。本作は上映禁止処分を受けたが、海外の映画祭からの上映依頼が殺到する。また『週末の出来事』(2001年、脚本・監督)が第28回ロッテルダム国際映画祭でHubert Bals基金賞を受賞。東京国際映画祭にも出品され、高い評価を受けた。

Born in 1962. Majored in director course of Peijing Movie Academy. His first film "A Sinking Town" was highly praised by critics and the people at large, and was awarded New Currents prize at the 1st Pusan International Film Festival, City of Torino prize at the 14th Torino International Film Festival and others. It was once banned in his country, but many requests for its exhibitions came from abroad. The latest work "An Incident at the Weekend" written and directed by him in 2001 was awarded Hubert Bals Fund prize at the 29th Rotterdam International Film Festival.



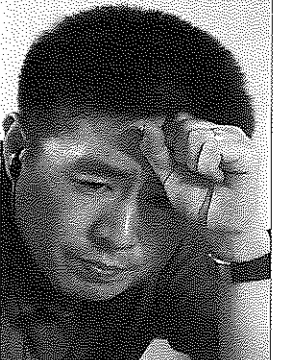
#### 朴 起鏞

Park Ki Yong

映画監督  
韓国

1961年生まれ。ソウル芸術専門大学映画科卒業。韓国映画アカデミー卒業。韓国映画アカデミー主任教授。ソウルオリンピック公式記録映画の助監督などドキュメンタリー、CF、長編映画の助監督として活動。『モーター・カクタス』(1997年、監督・脚本)が第2回プサン国際映画祭New Currents賞、フリール国際映画祭Jury賞、第27回ロッテルダム国際映画祭の国際批評家連盟賞・スペシャルメンションを受賞。『Camel(s)』(2001年、監督・脚本)が第16回フリール国際映画祭グランプリ受賞。またプロデューサーとしても活躍し「映画誕生100周年記念ドキュメンタリー(British Film Institute)」の韓国版「シッキム」(1995年)の製作に参加。2001年にはドキュメンタリー「チャン・ソヌ変奏曲」のプロデューサーを担当。

Born in 1961. Graduated the department of the movies of the Seoul College of Arts, and also Korean Academy for which he works as a chief professor. He participated as an assistant director in making the documentary film of the Seoul Olympic Games, and also many CFs and long films. His other works were awarded New Currents prize at the 2nd Pusan International Film Festival, Jury prize at the Liverpool International Film Festival, International Critics Federation prize; special mention at the Rotterdam International Film Festival, etc.



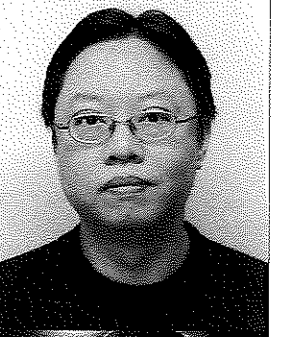
#### 舒 琪

Shu Kei

映画監督  
香港

1956年生まれ。香港大学英文学科 卒業。香港中文大学講師を経て、香港演藝學院Film/TV 学部教授。テレビの脚本家として出発し、早くから映画批評を手がける。後に映画の脚本や助監督を務める。また『電影變周刊』など雑誌編集にもエディターとして手腕を発揮。映画監督としては障害者の恋物語『兩小無知』(1981年)でデビューし、代表作『ソウル』(1986年)を演出。ドキュメンタリー作品・完全版『SUNLESS DAYS ある香港人の<天安門>』(1990年、短縮版はNHKで放映)はベルリン映画祭全キリスト賞、リミニ映画祭 特別賞を受賞。『虎度門』(1996年、邦題：『喝采の扉』)ではアジア太平洋映画祭 主演女優賞を受賞し、アカデミー賞 最優秀外国語映画部門の香港出品作品に選ばれた。また『悲情城市』(1988年)『さらば、わが愛』(1993年)では映画製作・配給の立場から現場に協力。『中国美少年』『天安門演義』などの小説もある。

Born in 1956. Graduated the department of English Language of Hong Kong University. Professor of Film/TV department of Hong Kong Art Academy. Starting as a scenario writer, she took part in criticizing movies, and later on she acted as an assistant director. She made a debut as a director in 1981 by a love story of the handicapped and as an actress she was awarded the Leading Actress prize in the film "Kassai no Tobira" in Japanese at the Asia-Pacific Film Festival.



#### 崔 洋一

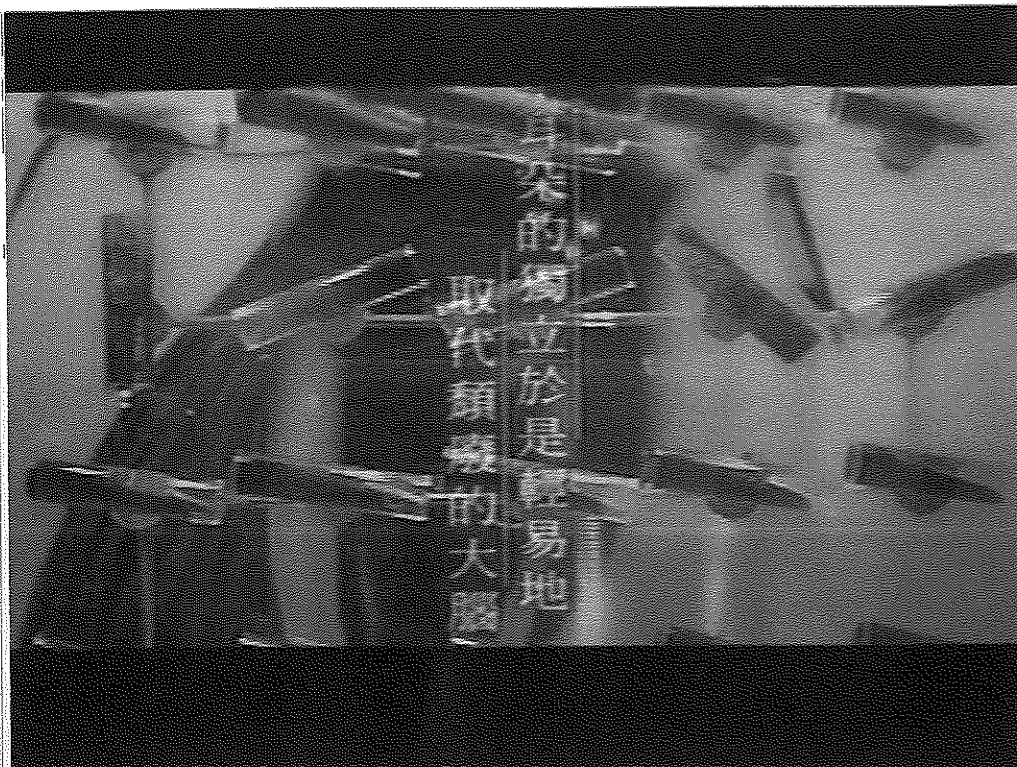
Yuuichi Sai

映画監督  
日本

1949年(昭和24年)7月6日生まれ。長野県に朝鮮系2世として生まれる。高校卒業後、照明助手として映画界に入り、大島渚監督の『愛のコリーダ』、村川透監督の『最も危険な遊戯』で助監督を務める。1981年にテレビ映画『プロハンター』で監督デビューを飾る。1983年に『十階のモスキート』でヴェネチア国際映画祭に参加。また『月はどっちに出ている』では、日本アカデミー賞監督賞など様々な賞を受賞し、ベルリン国際映画祭などでも上映された。1996年『マックスの山』が映画芸術にてベスト1となる。

Born in 1949 in Nagano Pref. as a Korean Nisei. After leaving a high school, he entered the film world as an assistant illuminator and served the noted film directors Nagisa Oshima and Tohru Murekawa respectively as an assistant director. In 1981 he made his debut as a director with the TV movie "Pro Hunter". In 1983 he exhibited his film "Mosquitos in the 10th Floor" for the Venetian International Film Festival. He then awarded the Japan Academy's Best Film Director prize and others for his film "Which side is the Moon up?" which was shown at the Berlin International Film Festival. In 1996 his film "Mountains of Marks" was selected as No. 1 of the best film arts.





### 沿江而上

2002 16min. color

初恋の人に会いに、同級生と一緒に彼女の実家を目指して川をのぼって行く・・・

Going up the river with her classmate toward her parents' house to see her first lover・・・

Director  
李 小江 (Li Xiao Jiang)  
中国 北京映画学校



### The Eyelashes

14min. monochrome

夢でオモニ（お袋）をみた。まつげが髪の毛が歩き方がオモニだった。オモニの顔は見たことがないのに・・・おやじはオモニと別れて、俺はオモニの顔を知らない。おやじとオモニと家族と、俺の夢と。

I saw Omoni (Mom) in a dream. The eyelashes, the hair, the way of walking, and the silhouette were just like those of Omoni. I've never seen Omoni's face. I don't know what she looks like, for Dad divorced her when I was a baby. Dad, Omoni, my family, and my dream・・・

Director  
キム・ジュホ (Kim Ju-Ho)  
韓国 韓国映画アカデミー卒業制作



## ASIA STUDENTS' FILM

アジア学生招待作品

アジア映画フォーラムに出演するゲストの方が推薦する各地の学生の映画。これからのアジア映画の感性和息吹を感じたい。  
Films by students from all over Asia, recommended by the guests who attend the Asian Film Forum. We hope that they will give us the sense and the breath of the Asian films of the coming generations.

りうぼうホール 7/6 13:00 18:30 7/7 11:00



### THE CROSSING

2001 38min. color

病院に行こうとしない父と寡黙な息子のすれ違い。

The story of the father who won't go to the doctor and the son of few words passing each other・・・

Director  
翁 志武 (Yung Chi Mo)  
香港 香港演藝學院



### Van Gogh's Ear

1995 0min. color

ウィリアム・ブレイク、アラギンズ・バーグ、ジョン・レノン・・・偉大な詩人の詩と映像の融和。

Harmony of the poems and pictures of great poets, such as William Blake, John Lennon and others.

Director  
呉 米森 (Mi-Sen WU)  
台湾 ニューヨーク大学在学中に撮影



# JCF

JCFは、学生の情報、才能を支援し、ビジネス化するインキュベーターカンパニーです。  
 JCF学生映画祭をはじめとして、マーケティング、放送、デザイン、起業の各分野において  
 学生に発表の場を提供し、その新鮮なアイデアを社会に反映させ、ビジネス化を支援します。



## CNB (Campus Network Broadcasting)

放送・アナウンサー <http://www.students-net.ne.jp/cnb/>

## JCF STUDENTS' MOVIE FESTIVAL

映画 <http://www.students-net.ne.jp/movie/>



- 創業支援 (Business model) コンテスト
- 課題：業種を問わず
  - 主催：Students'アントレプレナー 実行委員会
  - 共催：日本サークル連盟 (JCF)
  - 実施予定日：2002年11月

## JCF ENTRE AWARD

ビジネスプラン

## STUDENTS' CONCEPTION

マーケティング <http://www.students-conception.com/>



### STUDENTS' コンセプション

- 概要：日本の将来を担う若者にビジネス社会との接点を提供し、若者の既存の概念にとらわれない発想をひきだすことをその目的として開催。  
「Students' コンセプション」により、若者の自由な発想が育成・研磨されることで、次代の日本経済の活性化につながることを目指す。
- 実施状況：2001年に第1回学生ビジネスコンテスト「Students' コンセプション2001」を開催。  
マーケティング、クリエイティブの2部門に対する応募作品376作品から書類選考、全国5大都市（札幌、東京、名古屋、大阪、福岡）での予選を経て、決勝大会を開催、グランプリを決定。グランプリ受賞者にはモチーフとなったTOYOTA「bB Open Deck」を授与。  
2002年は、2001年東京モーターショー参考出品車両TOYOTA「VOLTZ」と、TOYOTAのカーディーラー「Netz店」をモチーフとしたアイデアを全国の学生から募集。
- 2001年度課題：[マーケティング部門] あなたが考える「Open Deck」の販売戦略をご提案ください  
[クリエイティブ部門] あなたが考える「Open Deck」の広告宣伝をご提案ください
- 2002年度課題：[VOLTZ部門]あなたが考える「VOLTZ」の販売促進戦略をご提案下さい  
[NETZ部門]あなたが考える「Netz」での販売促進戦略をご提案下さい
- 主催：「Students' コンセプション」実行委員会
- 共催：日本サークル連盟 (JCF)
- 協賛：トヨタ自動車株式会社

【名称】	CNB (Campus Network Broadcasting)
【コンセプト】	学生に関する情報を学生自身によって発信する放送局
【設立】	1997年8月1日
【メンバー数】	約40名
【所属大学】	早稲田大学、慶應義塾大学、明治大学、立教大学、青山学院大学、法政大学、明治学院大学、横浜国立大学、フェリス学院大学、千葉大学など
【放送媒体】	ラジオ・・・CSデジタルラジオ「ミュージック・アート」およびBSデジタルラジオ323ch WEBサイト・・・ <a href="http://students-net.ne.jp/cnb/">http://students-net.ne.jp/cnb/</a> インターネット動画配信 (2002年10月開始予定)
【実績】	98年12月 Inter FM (76.1MHz) において現役大学生の企画・運営によるラジオ番組「CNBBroadcasting」を放送。 99年8月 大磯ロングビーチにて「CNB Beach Side FM' 99 in OISO」を実施 01年7月 CSデジタル放送「ミュージック・アート」にて現役大学生の企画・運営によるラジオ番組「CNB es WAVE」の放送を開始。 02年4月 早稲田大学・慶應義塾大学内キャンパス内でCSデジタルラジオの放送を開始。

## JCF CG/PV CONTEST

クリエイティブ

- Students CG/PVコンテスト
- 課題：(未定) 部門(1) CG部門(2) プロモーションビデオ (PV) 部門
  - 主催：Students クリエイティブ 実務委員会
  - 共催：日本サークル連盟 (JCF)
  - 実施予定日：2002年9月

## STUDENTS' DESIGN CONTEST

パッケージデザイン <http://www.students-dc.com>

### Students' デザインコンテスト

- 課題：部門(1) [日本紀行めぐり]のパッケージデザイン、(2) [新幹線で食べる幕の内弁当]のパッケージデザイン
- 主催：Students' デザインコンテスト実行委員会
- 共催：日本サークル連盟 (JCF)
- 協賛：株式会社ジェイダイナー東海
- 協力：東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)、株式会社パッセンジャーズサービス
- 後援：株式会社エフエム東京
- 審査員：松永真 (グラフィックデザイナー)、澤田泰廣 (多摩美術大学グラフィックデザイン学科助教授)、村上竜雄 (Studio e-space代表/GETTI.co.jp取締役)、川崎孝夫 (株式会社ジェイダイナー東海代表取締役社長)
- 2001年度賞典：部門(1) グランプリ、賞金50万円/部門(2) グランプリ、賞金50万円/優秀賞、5万円



**ピンポン**  
主演:窪塚洋介

ハイクオリティな  
動画で、  
続々公開される  
映画予告を  
チェック!

配給:アスミック・エース  
7月20日(土)ロードショー!  
渋谷シネマライズ・テアトル新宿・  
銀座テアトルシネマ 他、  
全国順次公開



**映画をもっと楽しく、もっと便利に!**



ケータイで映画なら! ezweb/ezmovie対応

EZインターネット → エンターテイメント → 映画 → シネマイマジカ

EZインターネット → ezmovie → 音楽・映画 → シネマイマジカ

金額:315円(税込)/月額 問い合わせ先:mail:customer@cybird.co.jp

すぐお片付
配信時間から 06/10-1522 ⇒映画一覧
対象上映数:7 15:30(7/10:07) Lam Sam アー・ラム・サム
15:35(7/10:12) 推しメン
16:00(7/10:37) ヒーロー・ザ・キング ザ・キング・オブ・ヒーロー
16:15(7/10:52) ブレイク ブレイク

ピッコロ
Data 2002年/日本 配給アスミック・エース [本編]114分 監督]黒澤清 [原案]黒澤清 [脚本]黒澤清 [音楽]黒澤清 [編集]黒澤清 [録音]黒澤清 [照明]黒澤清 [VF]黒澤清 [出演]黒澤清/ARATA/

今いる場所で、今すぐ  
見られる映画を覚えて  
くれる。思い立った時に  
手軽に映画を見よう。

映画や人物・国内外の  
ドラマからアニメまで  
網羅。思わず夢中にな  
っちゃうデータベース。

**Cinema imagica mobile**

最新!  
What's New? (6/10)  
動画予告満載  
(新編追加4本)  
映画予告編はシネマイマジカ

★特集★  
ニューヨークの恋人  
カニカニ 狂った恋  
マジック  
加工

★マシカ特選★  
加工  
加工

★HotNews!★  
加工

お気に入り登録

すぐお片付  
今すぐ見たい  
最新公開映画  
永年正歌、ともさかへ主  
演加工  
公開中映画  
近日公開映画  
データベース  
動画予告集  
当サイトの動画ま  
たはストリーミング専用  
通信料金目安

シネマイマジカ?  
会員登録  
お問い合わせ

©2002 IMAGICA  
©2002 CYBIRD



君のパソコンが動きだす!

**B-BAT  
Super Stream Library**

<http://www.b-bat.tv/>

全22チャンネルで魅力的なブロードバンドコンテンツを配信する、スーパー・ストリーム・ライブラリー。東京ディズニーリゾートの最新情報「東京ディズニーリゾートニュース」から、あの懐かしの名マッチが蘇る「全日本プロレスインターネット・バトル」、注目株のアイドル達が続々登場「ホリプロNet-TV」、暑い夏にこそひんやりゾクッとさせる「稲川淳二の恐〜い話」まで。そして、このW杯で一躍大人気のベッカムやオーウェンの試合やインタビューが観れる「トータル・フットボール UK」などなど盛りだくさんの内容があなたのアクセスを待っています。

